



## オンラインマニュアル

### STRADA SMART

CC-RD500B



### PADRONE SMART

CC-PA500B



ご使用になる前に「使用方法」からお持ちの機器にあった使い方をよくお読みいただき本器の機能を十分にご理解の上、安全に正しくご使用ください。

Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。



### セットアップ

(はじめにご覧ください)



## 使用方法

お持ちの機器を選んでください。



スマートフォンとスマートコンピュータ



スマートコンピュータのみ

※ お持ちの機器により使用方法が異なります。

スマートコンピュータやCateyeCycling™に関するトラブルと解決方法については「よくある質問と答え」をご覧ください。

※ 本マニュアルの説明上、スマートコンピュータ画面の赤表記は点滅を表します。

※ 本マニュアルで使用されている表示画面、イラストは一例です。お使いの機器により実際に表示される画面やイラストが異なる場合があります。

※ 本製品のオンラインマニュアルおよびYouTubeムービーは予告なく変更することがあります。

## セットアップ方法



スマートフォンをお持ちの方



スマートフォンをお持ちでない方

## セットアップ方法

### スマートフォンをお持ちの方

#### ▶ スマートコンピュータを購入している場合

梱包内容の確認



セットアップ（初回のみ）



ブラケットの取付け

---

#### ▶ まだ購入していない場合

セットアップ（初回のみ）

---

#### ▶ オプション部品

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

心拍センサーの装着（HR-12）

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

---

スマートフォンをお持ちの方

## 梱包内容の確認



スマートコンピュータ



ブラケットバンド



ブラケット



ブラケットゴムパッド



ダイヤル

- ※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。
- ※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

## セットアップ

### ブラケットの取付け

## スマートフォンをお持ちの方

### 梱包内容

### セットアップ

はじめて使用する場合は、次の手順でスマートフォンとスマートコンピュータのセットアップを行います。

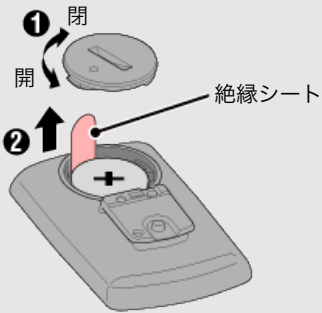
#### スマートコンピュータで

##### スマートコンピュータの絶縁シートを引抜きます

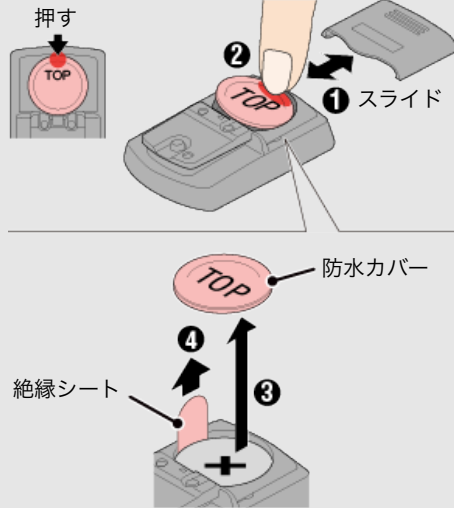
引抜いた後はバッテリーカバーを元に戻してください。

※ 液晶画面に文字が点灯している場合はそのままお使いいただけます。

##### パドローネスマート



##### ストラダスマート



#### スマートフォンで

セットアップにはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）を使用します。

#### 1. Cateye Cycling™をインストールします



iPhoneをご使用の方



Androidスマートフォンをご使用の方



※ Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、  
「Cateye Cycling™ 推奨機種」をご覧ください。

## 2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

### 重 要

スマートフォンのBluetooth設定をONにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

## 3. スマートコンピュータやセンサーとペアリングを行います

### 重 要

- ・ スマートコンピュータやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。

画面左上の （メニュー）から「接続」をONにして、「デバイス」をタップします。



「ペアリング」をタップするとペアリングを開始します。  
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

## スマートコンピュータとのペアリング

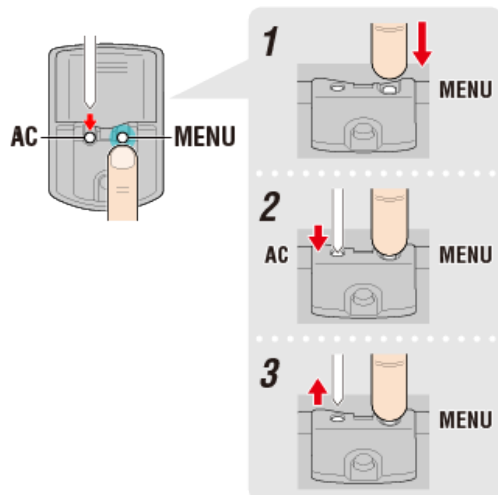
### スマートコンピュータで

## 1. スマートコンピュータをフォーマット（初期化）します

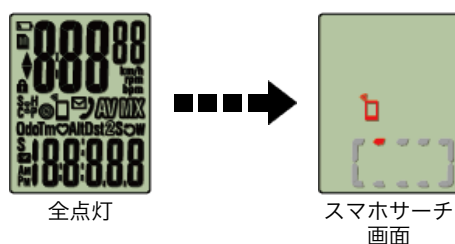
### 注 意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

スマートコンピュータの**MENU**を押しながら**AC**を押します。



画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切替ります。



※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試しください。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

#### スマートフォンで

Cateye Cycling™がスマートコンピュータを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。



【ペアリング】をタップしてペアリングを完了します。

※ パドローネスマートでiPhoneをお使いの場合は、以下のメッセージが表示される場合があります。

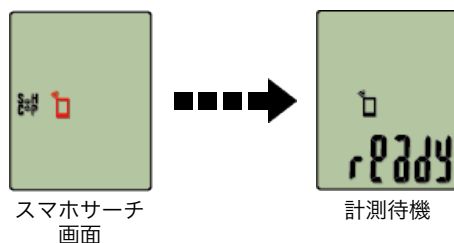


表示された場合はもう一度、【ペアリング】をタップしてください。

ペアリング完了後、画面左上の  (メニュー) から【トリップ】をタップしてトリップ画面に切替えます。

#### スマートコンピュータで

ペアリングが完了するとスマートコンピュータはスマホサーチ画面から「ready」（計測待機）表示に切替ります。



以上でスマートコンピュータのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引き続き、センサーのペアリングを行なってください。

## センサーとのペアリング

スマートコンピュータは、Bluetooth SMART規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

### 重 要

- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。  
他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。
- ・ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。



1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

## 1. センサー信号を発信させます



### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

「ペアリング」をタップすると「デバイス」に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

### スマートフォンで

## 2. タイヤ周長を設定します

「デバイス」から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。



### タイヤ周長の求め方

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

## ブラケットの取付け



## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

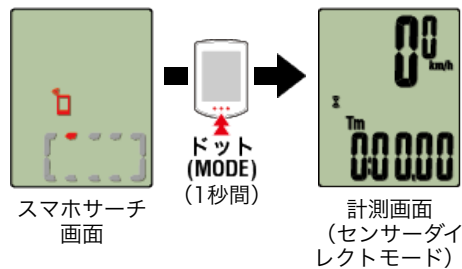
#### スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または （メニュー）の「接続」がOFFになっていることを確認します



#### スマートコンピュータで

2. スマホサーチ画面でMODEを1秒間押してセンサーダイレクトモードに切替えます



※ スマートコンピュータはスマートフォンではなくセンサーをサーチします。このモードではセンサーの受信状態をセンサーアイコンの点滅で知らせます。

- ・ **S**（点滅）：スピード信号を受信中
- ・ **C**（点滅）：ケイデンス信号を受信中
- ・ **S/C**（**S**と**C**が同時点滅）：スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を受信中
- ・ **H**（点滅）：心拍信号を受信中
- ・ **P**（点滅）：パワー信号を受信中

#### 重 要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

## ペアリング（センサーID照合）

### タイヤ設定

## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

#### ペアリング（センサーID照合）

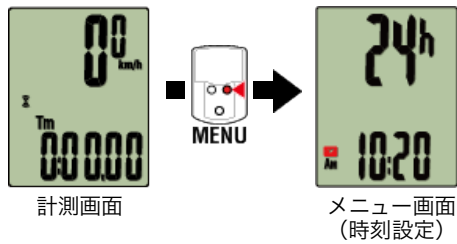
スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

#### 重 要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
- ・ スマートフォンとペアリングや接続したとき、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に置き換えられます。センサーを追加する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。

 スマートフォン：ペアリング

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



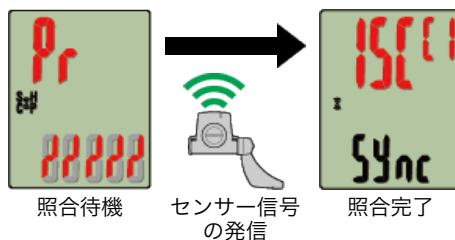
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

 センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- ・ **SP**：スピードセンサー
- ・ **ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
- ・ **CD**：ケイデンスセンサー
- ・ **HR**：心拍センサー
- ・ **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

#### 重 要

画面に **【FULL】** を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

## 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

## タイヤ設定

## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

### ペアリング（センサーID照合）

## タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

### 重 要

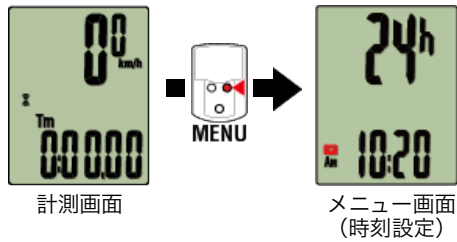
- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。



#### ペアリング（センサーID照合）

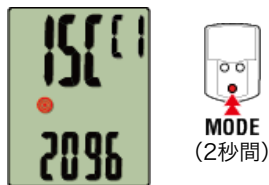
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します

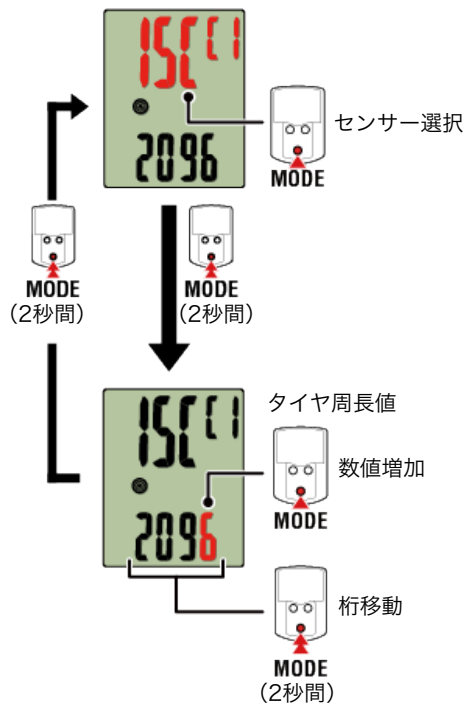


### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
（設定範囲：0100～3999 mm）



#### タイヤ周長の求め方



※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

- ・ **A** : Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー
- ・ **C** : スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

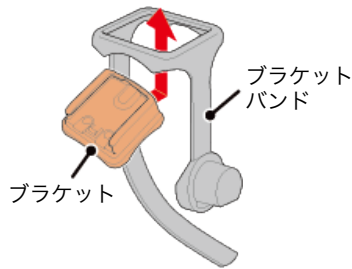
動画で見る

静止画で見る

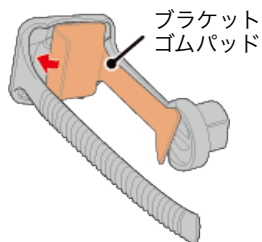
- ・ ステムに取付ける場合
- ・ ハンドルバーに取付ける場合
- ・ スマートコンピュータの着脱

#### ●ステムに取付ける場合

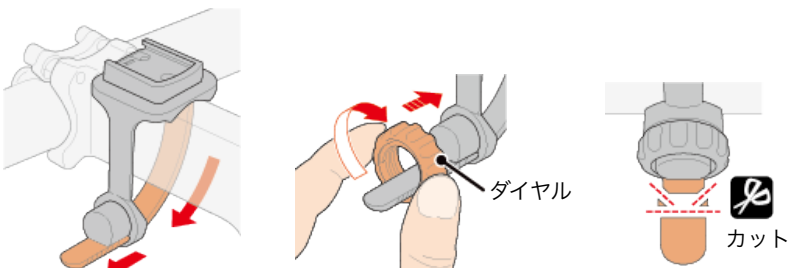
1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

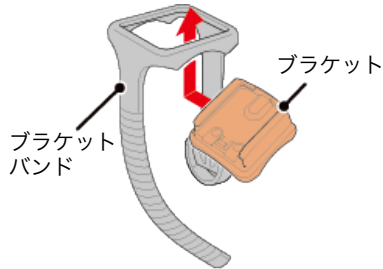


## 注 意

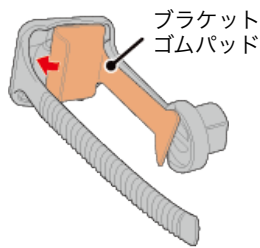
- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ハンドルバーに取付ける場合

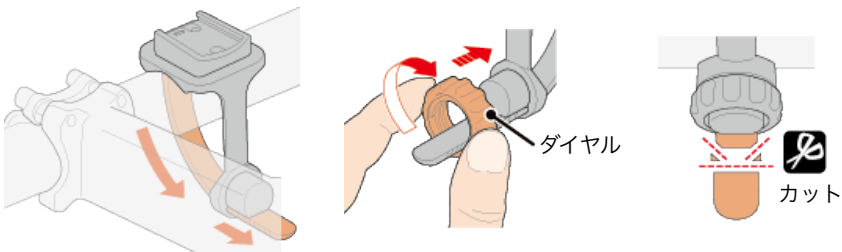
#### 1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



#### 2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



#### 3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します



## 注 意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●スマートコンピュータの着脱



## 注 意

取外すときは、スマートコンピュータが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

## スマートフォンをお持ちの方

### セットアップ

スマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）はスマートフォンのGPSを使ってトリップデータを記録します。  
さらにBluetoothセンサーと組合せると走行速度と共に心拍数やケイデンスなど信頼性の高い計測が可能になります。

#### 1. Cateye Cycling™をインストールします



iPhoneをご使用の方



Androidスマートフォンをご使用の方



Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。

#### 2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

##### 重 要

スマートフォンのBluetooth設定をONにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

※ センサーを使用しない場合は、これでセットアップは完了です。  
センサーを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

#### センサーとのペアリング

Cateye Cycling™は、Bluetooth SMART規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

##### 重 要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングす



る場合は、同じ手順を繰り返します。

## 1. ペアリングを行います

画面左上の （メニュー）から「接続」をONにして、「デバイス」をタップします。



「ペアリング」をタップするとペアリングを開始します。

## 2. センサー信号を発信させます

### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

「ペアリング」をタップすると「デバイス」に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順3に進みます。

## 3. タイヤ周長を設定します

「デバイス」から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここでできます。

### タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

スマートフォンをお持ちの方

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

センサーはチェーンステアの上側・下側どちらでも取付け可能です。

### 注 意

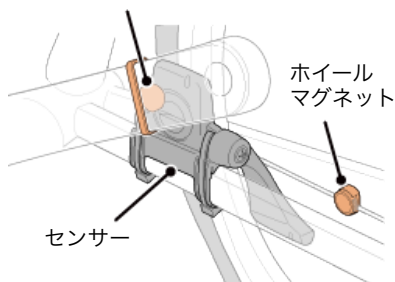
チェーンステア下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

動画で見る

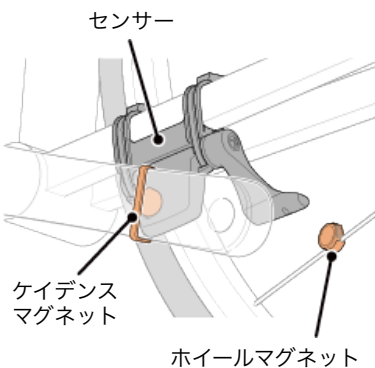
静止画で見る

#### チェーンステア上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



#### チェーンステア下側に取付けた場合



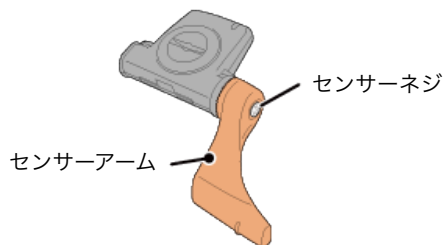
### 注 意

チェーンステア下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステア上側の取付けを例に説明しています。

### 1. センサーを左チェーンステアに仮止めします

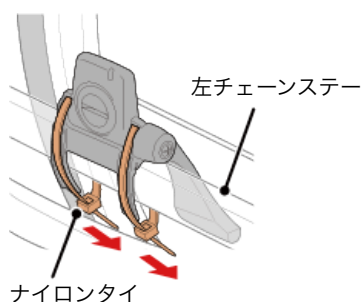
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



- ② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



- ③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

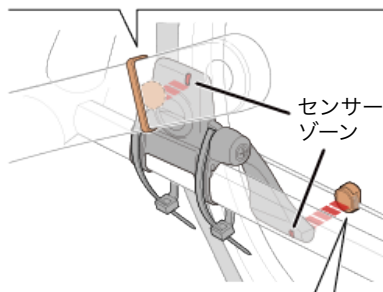
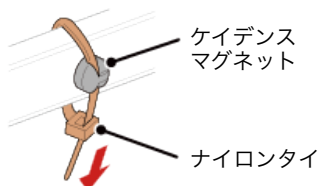


### 注 意

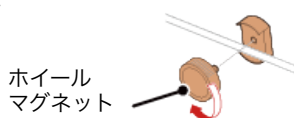
ナイロントイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2. マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク

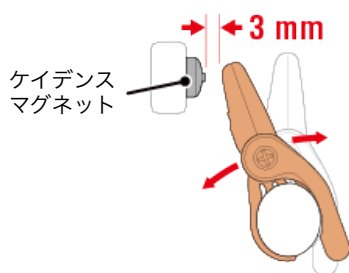


- ① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。
- ② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

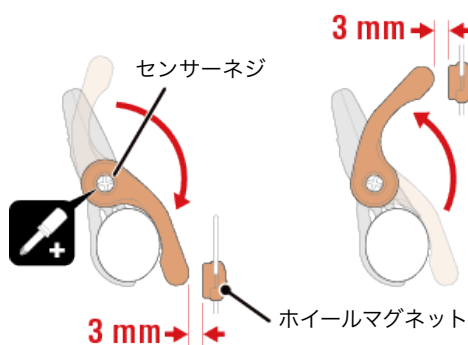
※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

### 3. センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

- ① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントайでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



### 4. 各部を固定します

センサーのナイロントай、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロントайはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## スマートフォンをお持ちの方

### 心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

#### 心拍センサーを装着する前に

##### 警 告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

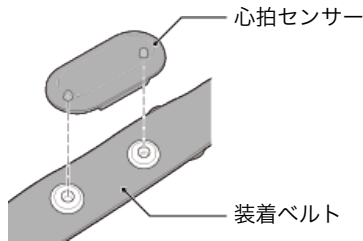
- ・ 計測ミスをなくするため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

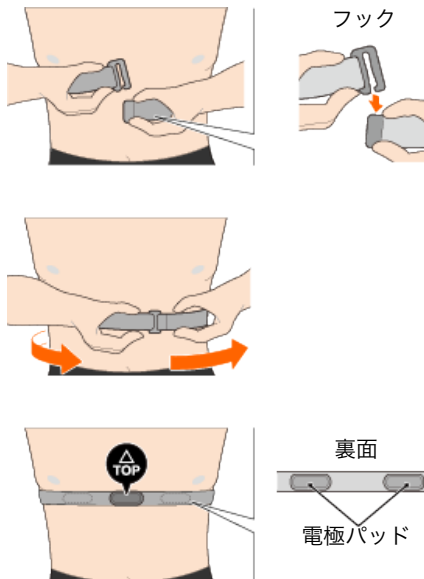
#### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



#### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じる場合があります。



※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## セットアップ方法

### スマートフォンをお持ちでない方

#### ▶ スマートコンピュータのセットアップ

梱包内容の確認

セットアップ（初回のみ）

ブラケットの取付け

#### ▶ オプション部品

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

心拍センサーの装着（HR-12）

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

スマートフォンをお持ちでない方

## 梱包内容の確認



スマートコンピュータ



ブラケットバンド



ブラケット



ブラケットゴムパッド



ダイヤル

※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。

※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

## セットアップ

### ブラケットの取付け



## スマートフォンをお持ちでない方

### 梱包内容

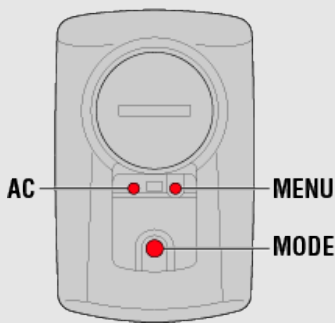
### セットアップ

はじめて使用する場合は、次の手順でスマートコンピュータをセットアップします。

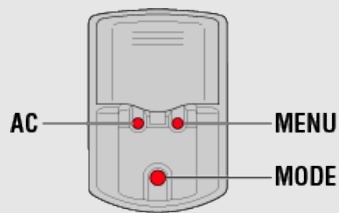
#### ボタン操作

セットアップを始める前にボタン位置をご確認ください。

パドローネスマート  
裏面



ストラダスマート  
裏面

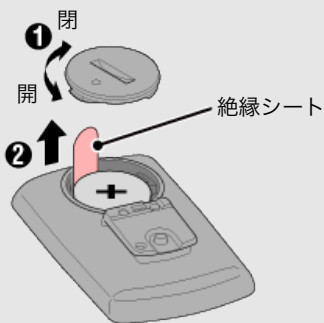


#### スマートコンピュータの絶縁シートを引抜きます

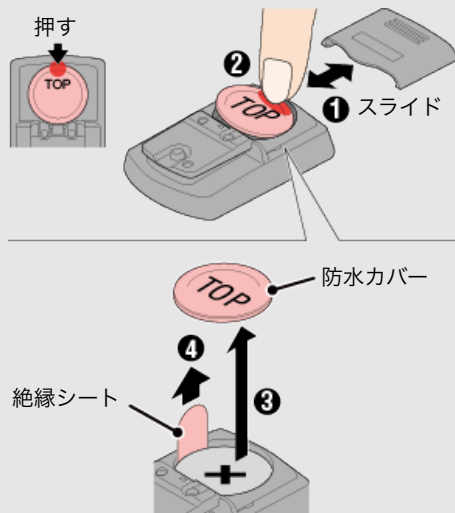
引抜いた後はバッテリーカバーを元に戻してください。

※ 液晶画面に文字が点灯している場合はそのままお使いいただけます。

パドローネスマート



ストラダスマート

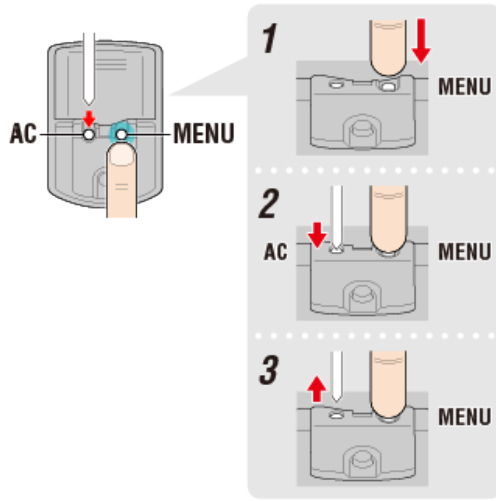


#### 1. スマートコンピュータをフォーマット（初期化）します

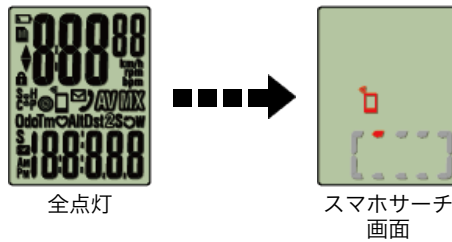
##### 注 意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

スマートコンピュータの**MENU**を押しながら**AC**を押します。



画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切り替ります。

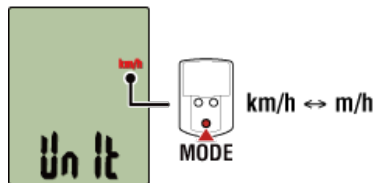


**MENU**を押して、次の手順に進みます。



※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試しください。

## 2. 任意の計測単位を表示します



**MENU**を押して、次の手順に進みます。



## 3. センサーをペアリングします

スマートコンピュータは、Bluetooth SMART規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

### 重 要

- ・センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では避けてください。他の機器とペアリングされる恐れがあります。
- ・使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
- ・スマートフォンと接続して使用する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてく

ださい。

スマートフォン接続時、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に書き換えられます。

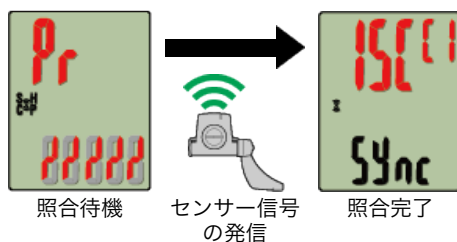


#### スマートフォン：ペアリング

ペアリングするセンサー信号を発信させます。



#### センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- ・ **SP**：スピードセンサー
- ・ **ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
- ・ **CD**：ケイデンスセンサー
- ・ **HR**：心拍センサー
- ・ **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

※ 他のセンサーをペアリングする場合は、**MODE**を2秒間押して照合待機表示に戻し、同じ手順を繰り返します。

※ ペアリングに失敗して次の手順に進めない場合は、**MENU**を押してペアリングをスキップしてください。セットアップ完了後にメニュー画面から再度ペアリングできます。

**MENU**を押して、次の手順に進みます。



## 4. タイヤ周長を設定します

### 重 要

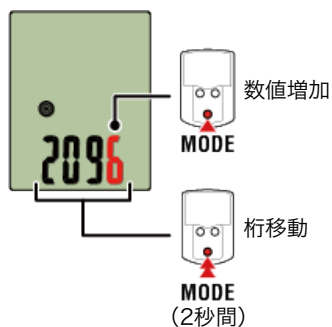
スピード計測可能なセンサーをペアリングしなかった場合、タイヤ周長入力はスキップします。

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。

（設定範囲：0100～3999 mm）



#### タイヤ周長の求め方



※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。



スマートフォンをお持ちでない方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

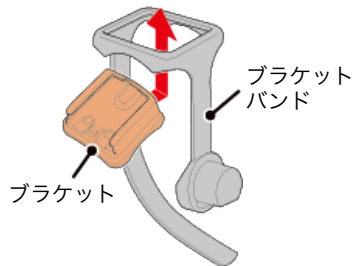
動画で見る

静止画で見る

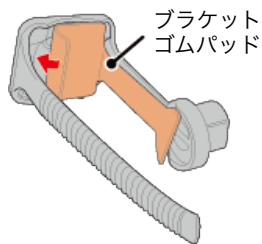
- ・ ステムに取付ける場合
- ・ ハンドルバーに取付ける場合
- ・ スマートコンピュータの着脱

#### ●ステムに取付ける場合

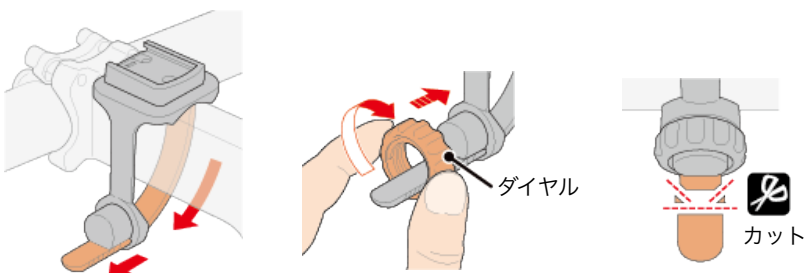
1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

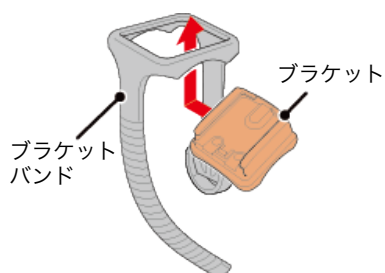


## 注 意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ハンドルバーに取付ける場合

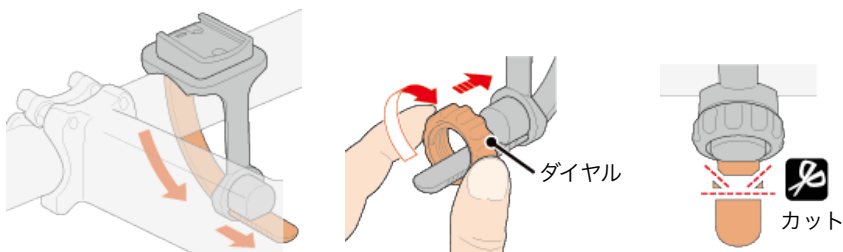
#### 1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



#### 2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



#### 3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します



## 注 意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●スマートコンピュータの着脱



## 注 意

取外すときは、スマートコンピュータが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

スマートフォンをお持ちでない方

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

センサーはチェーンステーの上側・下側どちらでも取付け可能です。

### 注 意

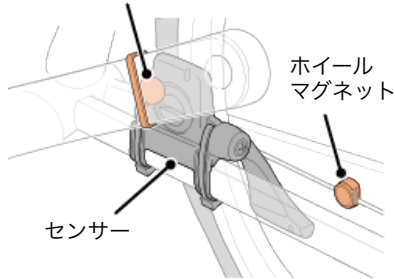
チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

動画で見る

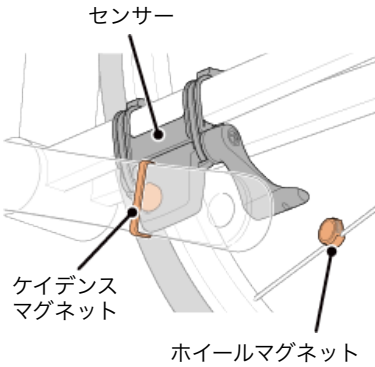
静止画で見る

### チェーンステー上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



### チェーンステー下側に取付けた場合



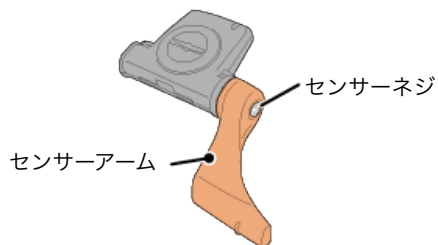
### 注 意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステー上側の取付けを例に説明しています。

## 1. センサーを左チェーンステーに仮止めします

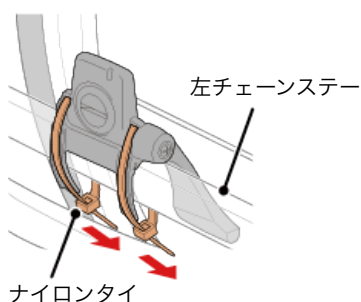
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

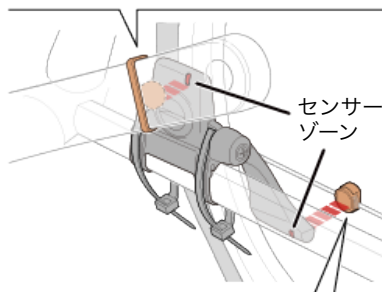
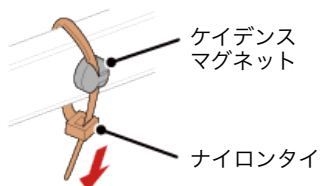


### 注 意

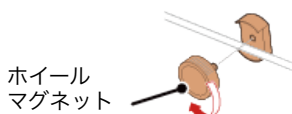
ナイロントイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2. マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク



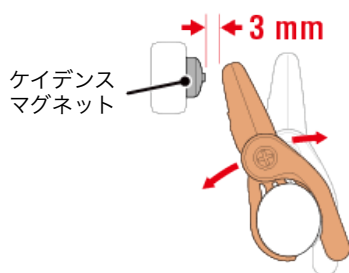
- ① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。
- ② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。



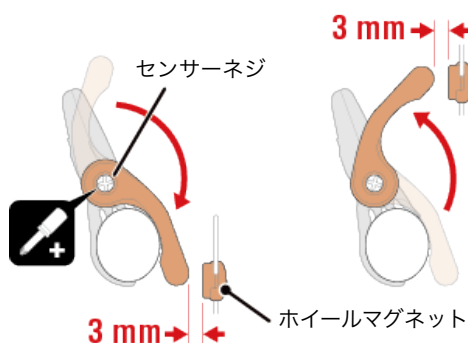
※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

### 3. センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

- ① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントайでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



### 4. 各部を固定します

センサーのナイロントай、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロントайはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

スマートフォンをお持ちでない方

## 心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

### 心拍センサーを装着する前に

#### 警 告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

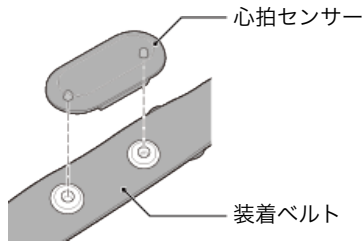
- ・ 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

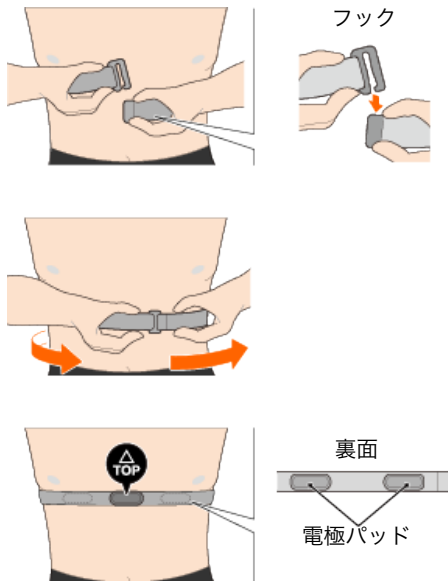
### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。



※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

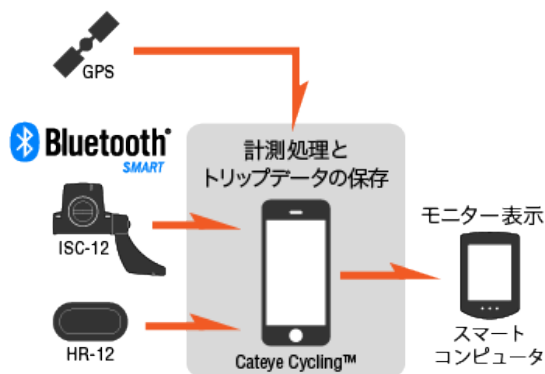
スマートコンピュータは好みや状況に応じて  
ミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード

センサーダイレクトモード

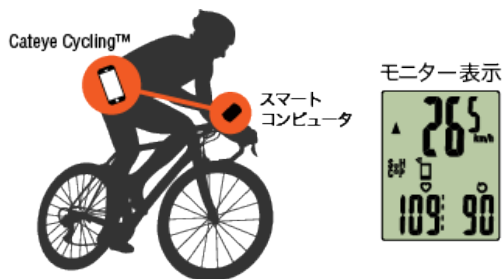
### ミラーモードとは

スマートコンピュータとスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」が連携することで、スマートコンピュータやオプションまたは市販の各種センサー（スピード・ケイデンス・心拍・パワー）がスマートフォンと繋がり、スマートフォンが持つGPS機能を加えたログ情報を記録しながら計測できます。このときスマートコンピュータはスマートフォンの計測値をリアルタイムで表示するモニターとなります。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社キャットアイはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

計測時は、スマートフォンをカバンやポケットに収納したまま、ハンドルに装着したスマートコンピュータでスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」を操作できるほか、計測値や電話・メールの着信を確認できます。  
これにより大切なスマートフォンの消費電力を抑え、落下の危険性も回避できます。



計測結果（トリップデータ）は、その場でCATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

- ※ 計測時にCateye Cycling™のオートラップ機能を使用することで、ラップの記録が可能になります。
- ※ スピード計測可能なセンサーがなくてもスマートフォンのGPS機能を利用したセンサーレスのサイクロコンピュータとして使用できます。

### ●画面表示について



見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

- 全体
- アクティビティリスト
- アップロード

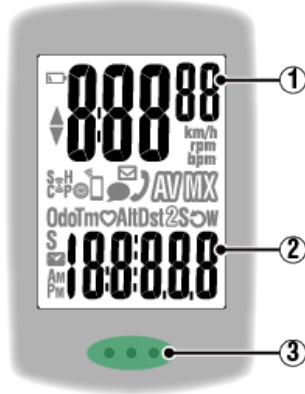
設定を変更する

Cateye Cycling™ではスマートコンピュータをはじめ、デバイスを含むすべての設定を行います。

- 重要  
スマートコンピュータのセンサー情報はスマートフォンに接続するとCateye Cycling™の内容で上書きされます。  
※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。
- 一般
- デバイス
- アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

## スマートコンピュータ画面



### 表示内容

#### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

ミラーモードでは、電話着信があった場合は、右端の数字が回転します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。



デバイス：スマートコンピュータ：画面カスタマイズ

#### ② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

- ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：

CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。



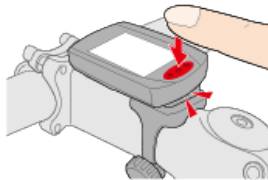
電池の交換：オプションセンサー

- ・ パワーが点滅する場合：

左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

#### ③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。



#### 着信インジケータ

電話やメールの着信時は画面のアイコン表示と共にドット部が定期的に点滅し夜間でも確認できます。

### アイコン説明

#### 🔋（バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。

早めに電池を交換してください。

## 電池の交換：スマートコンピュータ

### (メモリアラーム)

スマートコンピュータのメモリ残量がなくなると点灯します。

点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。

## サマリーデータのインポート

### (ベースアロー)

走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

### (センサー信号アイコン)

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

・ アイコンの種類：

#### **S (スピード信号)**

スピードセンサーの信号を表します。

#### **C (ケイデンス信号)**

ケイデンスセンサーの信号を表します。

#### **S/C (SとCが同時表示)**

スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を表します。

#### **H (心拍信号)**

心拍センサーの信号を表します。

#### **P (パワー信号)**

パワーセンサーの信号を表します。

・ アイコンの状態：

#### **点灯**

ミラーモードで信号受信

#### **点滅**

センサーダイレクトモードで信号受信

#### **消灯**

信号なし

### (タイヤサイズ)

スマートコンピュータ側でタイヤ周長を設定中に表示します。

### (シンクロ)

スマートフォン接続時に点灯します。

スマートフォンの電池残量が低下すると点滅します。

### (着信アイコン)

ミラーモードでは、電話やメールなどの着信をアイコンで通知します。

※ 通知できる内容はお使いのスマートフォンにより異なります。

※ メールに着信にはメールアカウントの設定が必要です。

## デバイス：スマートコンピュータ：通知設定

## 計測：一時停止、リセット操作

### **km/h・m/h・rpm・bpm (計測単位)**

選択中の計測単位を表示します。

・ 点灯

計測停止中

- ・ **点減**  
計測中

## **AV**（平均値）

表示中の値が平均値であることを表します。

## **MX**（最高・最大値）

表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

## 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

- ・ **Odo**（積算距離）
- ・ **Tm**（走行時間）
- ・ **♡**（心拍数）
- ・ **Alt**（標高）  
※ ミラーモード時のみ
- ・ **Dst**（走行距離）
- ・ **Dst2**（走行距離2）
- ・ **S**（走行速度）
- ・ **🔄**（ケイデンス）
- ・ **W**（パワー）
- ・ **🕒**（時刻）



## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

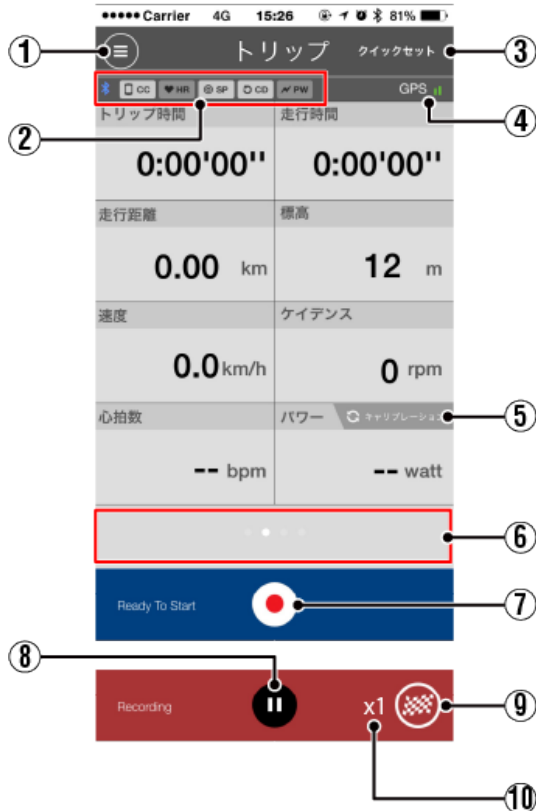
### Cateye Cycling™画面

Cateye Cycling™のホーム画面です。

計測の開始／一時停止／完了操作が行えます。

※ 計測の開始／一時停止／終了はスマートコンピュータ本体で遠隔操作できます。

※ センサー信号を受信できない計測データは「－」を表示します。



- ① **メニューボタン**  
メニューを表示します。

- ② **機器接続状態アイコン**  
機器との接続状態を表します。

- ・ **CC** (スマートコンピュータ)
- ・ **HR** (心拍センサー)
- ・ **SP** (スピードセンサー)
- ・ **CD** (ケイデンスセンサー)
- ・ **PW** (パワーセンサー)

※ 薄い表示は未接続を表します。

※ スピード／ケイデンス (ISC) センサーは、 **SP** と **CD** の両方を表示します。

### ③ クイックセット

各種計測機能のON/OFFを素早く選択できます。

### ④ GPSアイコン

GPSの受信状態を表します。

### ⑤ キャリブレーションボタン

パワーセンサーの計測値を0に戻します。

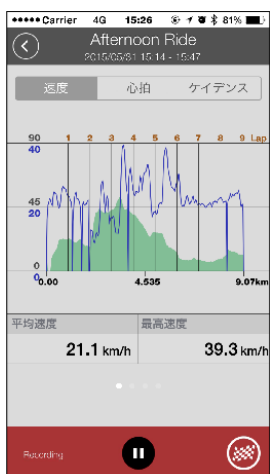
 パワーセンサーのキャリブレーション

### ⑥ 表示切替

スワイプするとマップ表示・グラフ表示・ラップ表示に切り替り軌跡を確認できます。



マップ表示



グラフ表示

| ラップ |         |         |      |      |    |     |    | AV |  |
|-----|---------|---------|------|------|----|-----|----|----|--|
| No. | LapTM   | SplitTM | DST  | SPD  | HR | CDC | PW |    |  |
| 9A  | 0:02:42 | 0:25:40 | 1.00 | 22.3 | 0  | 58  | 0  |    |  |
| 8A  | 0:02:51 | 0:22:58 | 1.00 | 21.2 | 0  | 55  | 0  |    |  |
| 7A  | 0:02:40 | 0:20:07 | 1.00 | 22.6 | 0  | 53  | 0  |    |  |
| 6A  | 0:02:22 | 0:17:27 | 1.00 | 25.4 | 0  | 61  | 0  |    |  |
| 5A  | 0:02:25 | 0:15:05 | 1.00 | 25.1 | 0  | 60  | 0  |    |  |
| 4A  | 0:02:56 | 0:12:40 | 1.00 | 20.4 | 0  | 57  | 0  |    |  |
| 3A  | 0:03:59 | 0:09:44 | 1.00 | 15.1 | 0  | 53  | 0  |    |  |
| 2A  | 0:03:05 | 0:05:45 | 1.00 | 19.9 | 0  | 59  | 0  |    |  |
| 1A  | 0:02:40 | 0:02:40 | 1.00 | 22.0 | 0  | 55  | 0  |    |  |

ラップ表示

※ ラップ表示のNo.には**A**（オートラップ）が表示されます。

## ⑦ 計測開始ボタン

計測を開始します。

※ スピード信号またはGPSを受信できない場合は、選択できません。

## ⑧ 一時停止ボタン

計測を一時停止します。

## ⑨ フラッグボタン

計測を完了します。

トリップのアップロード画面に切替ります。

## トリップの保存・アップロード

## ⑩ トリップの一時保存数

リセット操作で一時保存したトリップデータの数を表します。

### 重 要

一時保存できるトリップデータは最大30ファイルです。これを超えると表示が [Full] に変わり、以降の一時保存はできません。こまめにトリップデータを保存・アップロードすることをお勧めします。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

## スマートフォンとスマートコンピュータの接続

スマートフォンで

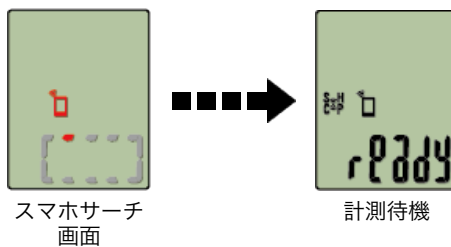
1. Cateye Cycling™を起動し、（メニュー）の「接続」をONにします



スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。



※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、[PAUSE] や計測中の値が表示されます。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

計測前の準備

計測

トリップの保存・アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

## 計測前の準備

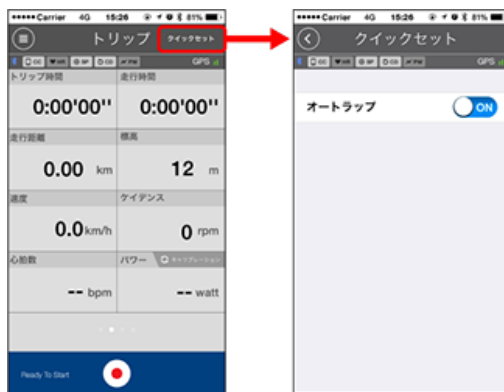
オートラップを利用する場合は計測前にONに切替えます。  
ここではトリップ画面から素早く設定できるクイックセットを説明します。

スマートフォンで

### 1. (メニュー) の [トリップ] をタップします



### 2. 画面右上の [クイックセット] をタップします



#### ・ オートラップ

オートラップ機能のON/OFFを選択します。

※ オートラップ機能は距離・時間・マップのいずれかの方法で設定できます。  
設定内容の変更は以下の画面で行います。



一般：オートラップ

### 3. (戻る) をタップします

トリップ画面に戻ります。

計測

トリップの保存・アップロード

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### スマートフォンとスマートコンピュータの接続

#### 計測前の準備

#### 計測

##### 重 要

##### ・ スマートフォンの取扱い

計測時、スマートフォンはCateye Cycling™を起動したままディスプレイをOFFにして、カバンやポケットなどの安全な場所に収納します。

計測のスタート／一時停止／再開やリセット操作（トリップの終了）は、スマートコンピュータから遠隔操作できるので、トリップの保存・アップロードを行うまで取出す必要はありません。

※ Cateye Cycling™はバックグラウンドでも計測可能です。

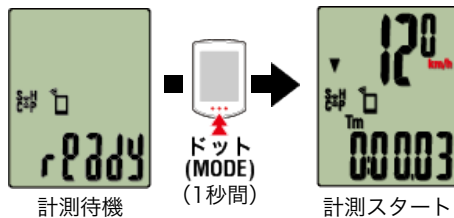
##### ・ 計測の上限について

ミラーモードは1回のトリップで計測できる走行時間は約27時間、走行距離は1000 kmまでです。いずれかを超えると、計測を終了してトリップデータを一時保存します。この場合、画面は次のトリップ計測を開始できる「ready」（計測待機）表示に戻ります。

#### ▶ 計測の開始

##### スマートコンピュータで

スマートコンピュータが「ready」（計測待機）表示のときに**MODE**を1秒間押すと、計測を開始します。

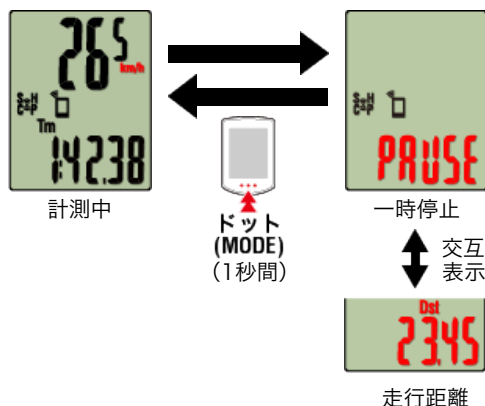


※ 計測中、スマートフォンとの接続が切断した場合、スマートコンピュータはスマホ画面に切り替えます。接続が復帰すると計測画面に戻ります。

#### ▶ 計測の一時停止／再開

##### スマートコンピュータで

計測中に**MODE**を1秒間押すと「PAUSE」を表示して一時停止状態になります。再度、1秒間押すと計測を再開します。

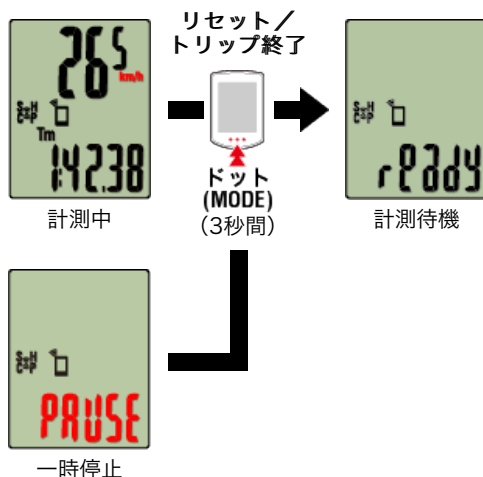


## 🔴 計測を終了する（リセット操作）

スマートコンピュータで

**MODE**を3秒間押すと計測を終了してスマートフォンにトリップデータを一時保存し、計測値をリセットします。

画面は「ready」表示に切り替わり、次の計測を開始できる状態になります。



## 👉 トリップの保存・アップロード

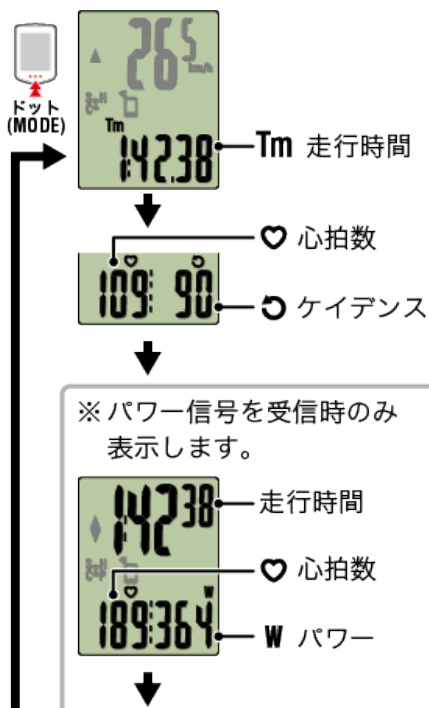
## ● 計測時の機能

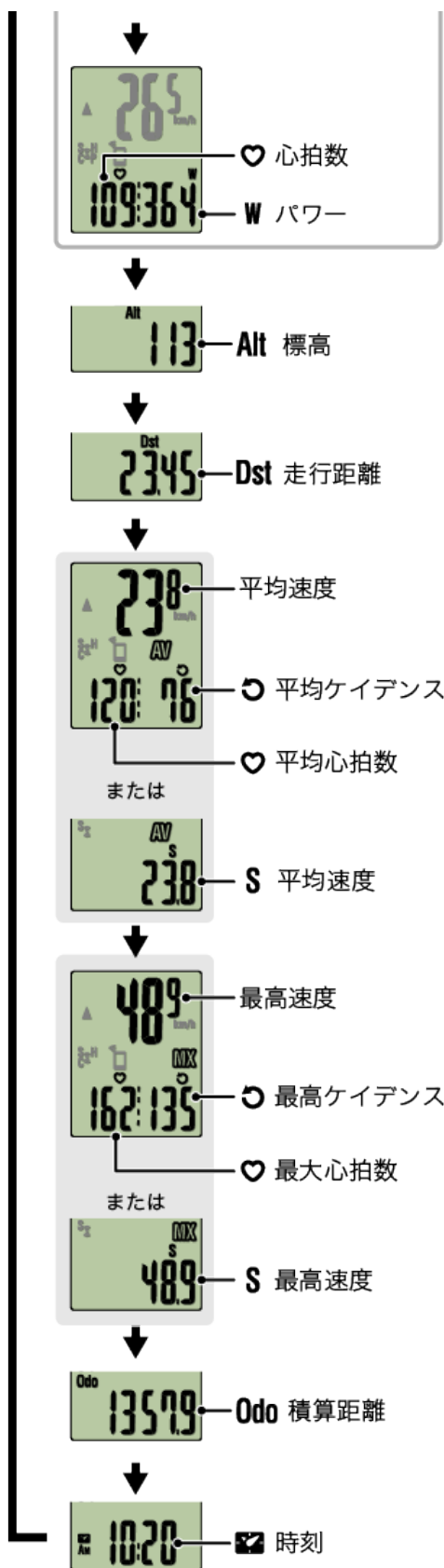
計測データの切替

スマートコンピュータで

Cateye Cycling™で計測中の各データを**MODE**で切替えて表示できます。

※ 表示するデータは、センサーの接続状態により異なります。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示しません。

#### オートラップ機能

Cateye Cycling™では自動でラップを記録できます。  
ラップ間隔は距離・時間・場所のいずれかで設定できます。  
記録したラップはCateye Cycling™やCateye Atlas™サイトで確認できます。

スマートフォンで



| ラップ |         |         |      |      |    |     |    |
|-----|---------|---------|------|------|----|-----|----|
| No. | LapTM   | SplitTM | DST  | SPD  | HR | CDC | PW |
| 8A  | 0:02:42 | 0:25:40 | 1.00 | 22.3 | 0  | 58  | 0  |
| 8A  | 0:02:51 | 0:22:58 | 1.00 | 21.2 | 0  | 55  | 0  |
| 7A  | 0:02:40 | 0:20:07 | 1.00 | 22.6 | 0  | 53  | 0  |
| 6A  | 0:02:22 | 0:17:27 | 1.00 | 25.4 | 0  | 61  | 0  |
| 5A  | 0:02:25 | 0:15:05 | 1.00 | 25.1 | 0  | 60  | 0  |
| 4A  | 0:02:56 | 0:12:40 | 1.00 | 20.4 | 0  | 57  | 0  |
| 3A  | 0:03:59 | 0:09:44 | 1.00 | 15.1 | 0  | 53  | 0  |
| 2A  | 0:03:05 | 0:05:45 | 1.00 | 19.9 | 0  | 59  | 0  |
| 1A  | 0:02:40 | 0:02:40 | 1.00 | 22.0 | 0  | 55  | 0  |

一般：オートラップ

## オートポーズ機能

### スマートフォンで

スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したときに、計測を一時停止する機能です。

接続が復帰すると自動的に再開します。

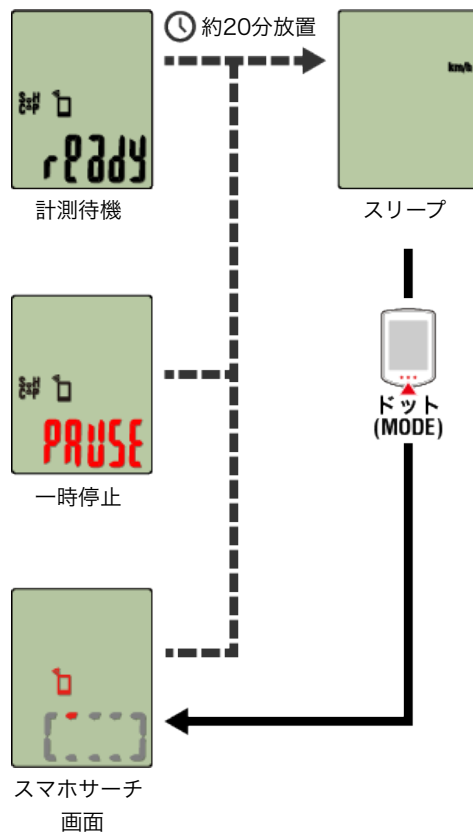
デバイス：スマートコンピュータ：オートポーズ

## 節電機能

### スマートコンピュータで

スマートコンピュータは「ready」（計測待機）、「PAUSE」（一時停止）、スマホサーチ画面のいずれかで約20分間放置したり、Cateye Cycling™を終了する、または「接続」をOFFにするとスリープ表示になります。

**MODE**を押してスマホサーチ画面に切替えて、スマートフォンと接続が復帰すると計測画面に戻ります。



## パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

### スマートコンピュータで



パワー

### スマートフォンで



パワー

※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。



**パワーセンサーのキャリブレーション**

## トリップの保存・アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

計測前の準備

計測

トリップの保存・アップロード

スマートフォンで

1. トリップ画面で  (フラッグ) をタップして計測を完了します  
アップロード画面に切替ります。



2. アップロード先を [ON] 表示にします

- ※ トリップ名は変更可能です。
- ※ 事前に各サービスサイトのアカウント設定が必要です。

 アカウント

- ※ Cateye Cycling™ではCATEYE Atlas™にアップロードしたトリップのリンクのみ Facebook™、Twitter™に投稿できます。その他のサービスサイトのリンクは投稿できません。

3.  (保存・アップロード) をタップするとトリップがCateye Cycling™に保存されると共に選択したサービスサイトにアップロードされます

- ※ 複数のトリップがある場合は、この操作を繰り返します。

- ※  (削除) でトリップを削除できます。

- ※ 計測を行わないときは、スマートフォンのバッテリー消費を抑えるため、 (メニュー) の [接続] をOFFにすることをお勧めします。

 アクティビティリスト

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

スマートフォンで

1. (メニュー) の [全体] をタップします



※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

アクティビティリスト

アップロード

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

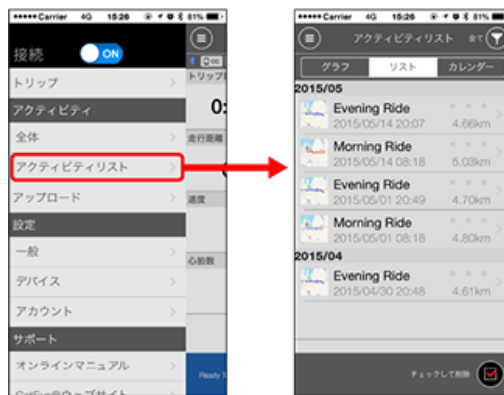
### 全体

### アクティビティリスト

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

スマートフォンで

#### 1. (メニュー) の [アクティビティリスト] をタップします



※ [アクティビティリスト] はグラフ/リスト/カレンダーで表示できます。

※ (選択して削除) をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、(削除) をタップしてください。

#### 2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます



・ (アップロード) :  
サービスサイトへのアップロード

・ (削除) :  
アクティビティ削除

アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

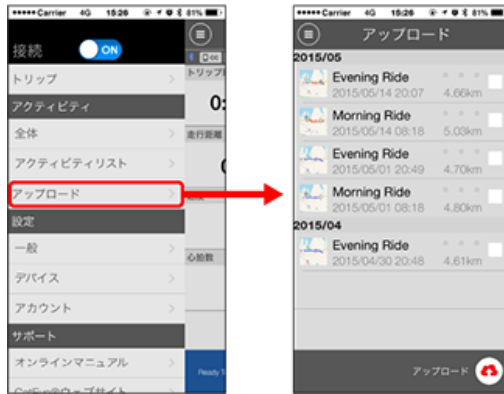
アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1.  (メニュー) の [アップロード] をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。



2. 任意のアクティビティにチェックを付けて  (アップロード) をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は [アカウント] でONにしたサイトになります。

 アカウント

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### 一般

計測に関する各種設定を行います。

#### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) の [一般] をタップします



- ・ **記録間隔**

ログを記録する間隔を選択できます。

- ・ **単位**

計測単位を選択します。

#### 重 要

スマートコンピュータと未接続の状態単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- ・ **高度プリセット**

自宅など特定地点の海拔高度をプリセットできます。

高度プリセットをONにすると計測開始時の海拔高度を補正して、高度計測の信頼性が改善されます。

※ iPhone6など高度計測の精度が高いスマートフォンでは高度プリセットを行う必要はありません。

- ・ **オートラップ**

ラップの自動入力を距離・時間・マップのいずれかの方法から選択できます。

※ マップで地点を指定する：

マップ上で任意の場所をホールドするとその地点が指定されます。

- ・ **ヘルスケアアプリで共有 (iPhoneのみ)**

ヘルスケアアプリに計測データを転送できます。

- ・ **地図位置補正 (iPhoneのみ)**

〔地図位置補正〕は中国での地図の位置ズレを補正する機能です。

中国以外の国で〔地図位置補正〕をONにするとアクティビティリストの走行ルートが位置がずれて表示され、OFFにすると戻ります。

#### デバイス

#### アカウント

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### 一般

### デバイス

スマートコンピュータやセンサーのペアリング、各種設定を行います。

### 重要

- ・ デバイスの設定内容はスマートコンピュータとスマートフォンを接続した時点で共有されます。
- ・ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。



1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

### スマートフォンで

1. (メニュー) の [デバイス] をタップします



### スマートコンピュータ

### 重要

スマートコンピュータと接続中のみ設定可能です。





- ・ **ニックネーム**

スマートコンピュータの名称を変更できます。

- ・ **通知設定**

電話やメールなどの着信通知やスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。

※ 通知できる内容はお使いのスマートフォンにより異なります。

※ auのAndroidスマートフォンをお使いの場合は、仕様によりメール (@ezweb.ne.jp) を登録できません。

- ・ **オートポーズ**

計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したとき自動的に計測を一時停止する機能です。

- ・ **画面カスタマイズ**

上段表示と下段表示の内容を指定できます。

- ・ **積算距離**

積算距離の初期値を入力できます。

※ 買替時や再設定する場合に活用してください。

## センサー

### 重 要

スマートコンピュータと未接続でも変更可能です。

双方の設定値が異なる場合は、次回接続時にCateye Cycling™の内容で上書きされます。

※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。



- ・ **ニックネーム**

センサーの名称を変更できます。

- ・ **タイヤ周長**（スピード計測可能なセンサーのみ）

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

タイヤ側面に記載されているタイヤサイズからタイヤ周長を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。



### タイヤ周長の求め方

※ スマートコンピュータやセンサーのペアリングについては以下をご覧ください



### ペアリング

## アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイトやSNSのアップロード先の設定を行います。

## 1. (メニュー) の [アカウント] をタップします



以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

### サービスサイト

- ・ CATEYE Atlas™

- ・ STRAVA™

※ アカウント入力の際は [Googleを使ってログイン] は使用せず 直接メールアドレスを入力してSTRAVAにログインしてください。

- ・ TRAINING PEAKS™

### SNS

- ・ Facebook™

- ・ Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

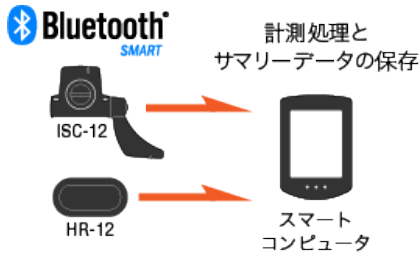
スマートコンピュータは好みや状況に応じてミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード

センサーダイレクトモード

### センサーダイレクトモードとは

スマートフォンを介さず、通常のサイクロコンピュータとして使用できます。  
この場合、各種センサー（スピード・ケイデンス・心拍・パワー）からの信号をスマートコンピュータが直接受信して計測します。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社キャットアイはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

走行時間や走行距離などの走行結果（サマリーデータ）は、「Cateye Cycling™」でスマートフォンに転送し、CATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

※ センサーダイレクトモードでは、走行ログの記録はできません。

※ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

### ● 画面表示について

スマートコンピュータ画面

### 計測する

センサーダイレクトモードの切替え

計測の開始／停止

見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

全体

アクティビティリスト

アップロード

センサーダイレクトモードで計測した  
サマリーデータのインポート

設定を変更する

Cateye Cycling™ではスマートコンピュータをはじめ、デバイスを含むすべての設定を行えます。

#### 重 要

- ・ スマートコンピュータのセンサー情報はスマートフォンに接続するとCateye Cycling™の内容で上書きされます。  
※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。
- ・ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。



ペアリング（センサーID照合）



タイヤ設定

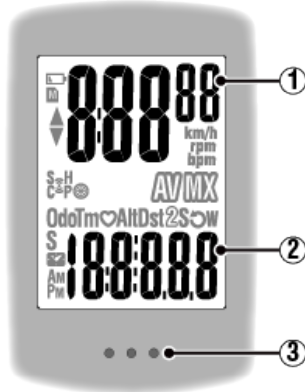
一般

デバイス

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

## スマートコンピュータ画面



### 表示内容

#### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。



デバイス：スマートコンピュータ：画面カスタマイズ

#### ② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

- ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：  
CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。

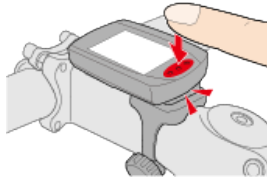


電池の交換：オプションセンサー

- ・ パワーが点滅する場合：  
左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

#### ③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。



### アイコン説明

#### （バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。

早めに電池を交換してください。



電池の交換：スマートコンピュータ

#### （メモリアラーム）

スマートコンピュータのメモリ残量がなくなると点灯します。

点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。



## サマリーデータのインポート

### ▲▼（ベースアロー）

走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

### 📶（センサー信号アイコン）

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

・ アイコンの種類：

#### S（スピード信号）

スピードセンサーの信号を表します。

#### C（ケイデンス信号）

ケイデンスセンサーの信号を表します。

#### S/C（SとCが同時表示）

スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を表します。

#### H（心拍信号）

心拍センサーの信号を表します。

#### P（パワー信号）

パワーセンサーの信号を表します。

・ アイコンの状態：

#### 点滅

信号受信中

#### 消灯

信号なし



### （タイヤサイズ）

スマートコンピュータ側でタイヤ周長を設定中に表示します。

### km/h・m/h・rpm・bpm（計測単位）

選択中の計測単位を表示します。

・ 点灯

計測停止中

・ 点滅

計測中



### （平均値）

表示中の値が平均値であることを表します。



### （最高・最大値）

表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

### 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

・ **Odo**（積算距離）

・ **Tm**（走行時間）

・ **♡**（心拍数）

・ **Dst**（走行距離）

・ **Dst2**（走行距離2）

・ **S**（走行速度）

・ **🔄**（ケイデンス）

・ **W** (パワー)

・  (時刻)

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### センサーダイレクトモードの切替

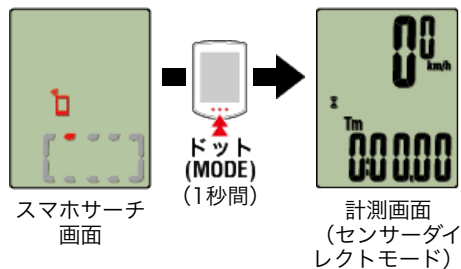
#### スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または  (メニュー) の [接続] が OFF になっていることを確認します



#### スマートコンピュータで

2. スマホサーチ画面でMODEを1秒間押してセンサーダイレクトモードに切替えます



※ スマートコンピュータはスマートフォンではなくセンサーをサーチします。このモードではセンサーの受信状態をセンサーアイコンの点滅で知らせます。

- ・ **S** (点滅) : スピード信号を受信中
- ・ **C** (点滅) : ケイデンス信号を受信中
- ・ **S/C** (**S**と**C**が同時点滅) : スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を受信中
- ・ **H** (点滅) : 心拍信号を受信中
- ・ **P** (点滅) : パワー信号を受信中

#### 重 要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

#### 計測の開始/停止



## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

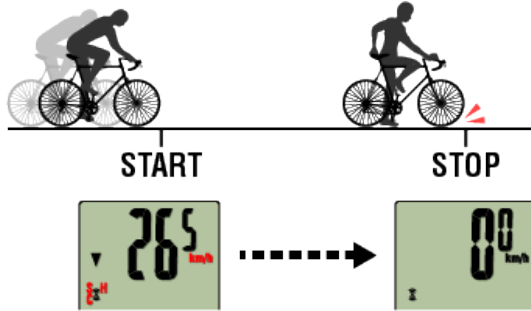
### センサーダイレクトモードの切替

#### 計測の開始／停止

##### ▶ 計測の開始／停止

スマートコンピュータで

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。  
計測中は、計測単位が点滅します。



※ センサーダイレクトモードでは一時停止機能はありません。

##### ▶ 計測を終了する（リセット操作）

スマートコンピュータで

計測画面で**MODE**を3秒間押すと、計測結果をサマリーデータとして生成し、計測データを0に戻します。

※ **MODE**は1秒間押した時点で一時的にスマホサーチ画面を表示しますがそのまま押し続けてください。

※ 積算距離（**Odo**）はリセットできません。

※ 生成したサマリーデータは、スマートフォンに取込めます。



##### 📄 サマリーデータのインポート

#### 重 要

スマートコンピュータが保存できるサマリーデータは最大30ファイルです。これを超えると画面に **M** が点灯し、リセット時に最も古いサマリーデータを消去します。スマートフォンと接続してお使いの場合はこまめにインポートすることをお勧めします。

##### ● 走行距離2（Dst2）のリセット

走行距離2（**Dst2**）を表示させて**MODE**を3秒間押すと、走行距離2のみ0に戻ります。

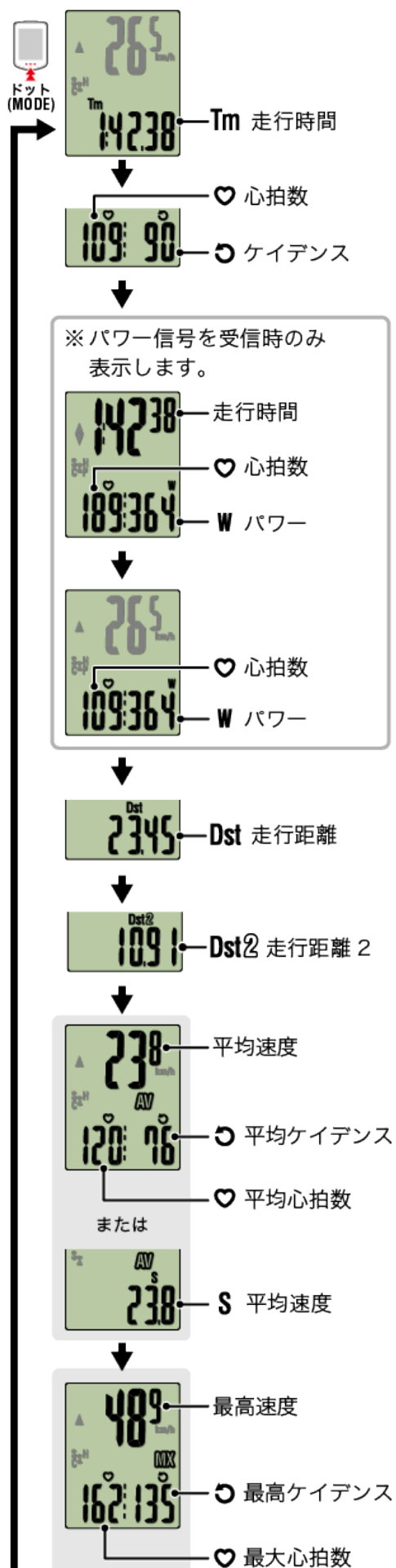
※ 走行距離2（**Dst2**）の値はサマリーデータには記録されません。

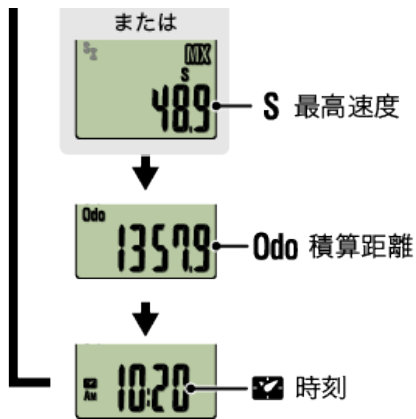
##### ● 計測時の機能

#### 計測データの切替

**MODE**を押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。

リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

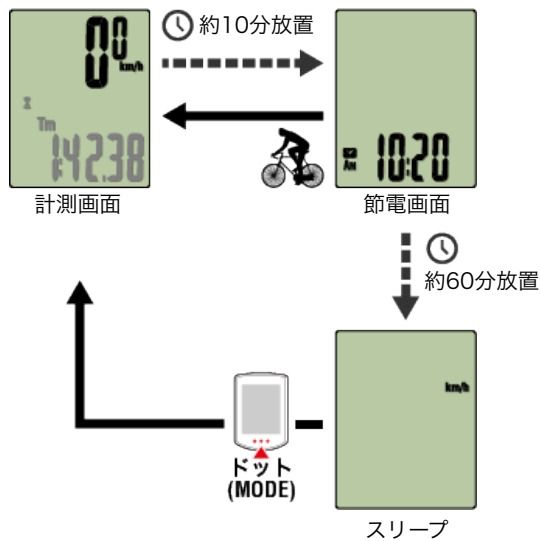
 リセット操作

## 節電機能

### スマートコンピュータで

10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。

節電画面では自転車動き出すと計測画面に戻ります。



## パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

### スマートコンピュータで



※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。



**パワーセンサーのキャリブレーション**

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

スマートフォンで

1. (メニュー) の [全体] をタップします



※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

アクティビティリスト

アップロード

サマリーデータのインポート

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

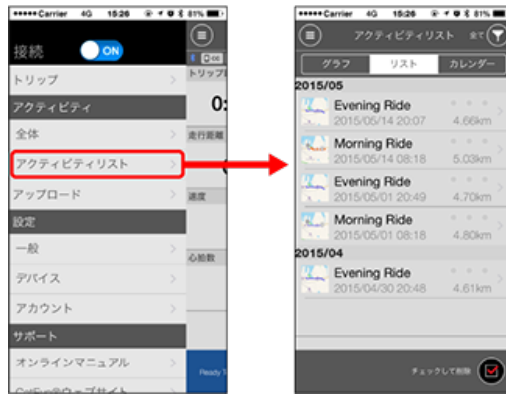
### 全体

### アクティビティリスト

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

スマートフォンで

#### 1. (メニュー) の [アクティビティリスト] をタップします



※ [アクティビティリスト] はグラフ/リスト/カレンダーで表示できます。

※ (選択して削除) をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、(削除) をタップしてください。

#### 2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます



・ (アップロード) :  
サービスサイトへのアップロード

・ (削除) :  
アクティビティ削除

アップロード

サマリーデータのインポート

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

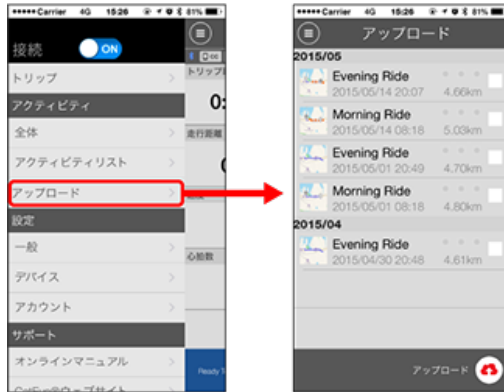
アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1.  (メニュー) の [アップロード] をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。



2. 任意のアクティビティにチェックを付けて  (アップロード) をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は [アカウント] でONにしたサイトになります。

 アカウント

サマリーデータのインポート



## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アップロード

サマリーデータのインポート

スマートコンピュータに蓄積されたサマリーデータ（センサーダイレクトモードの計測結果）をスマートフォンに転送します。

### 重 要

サマリーデータをインポートする前に必ずスマートコンピュータの計測を終了（リセット操作）してください。計測を終了していないデータはインポートできません。



リセット操作

### スマートフォンで

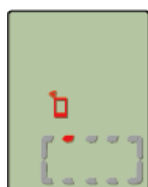
1. Cateye Cycling™を起動し、☰（メニュー）の「接続」をONにします



### スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。



スマホサーチ画面

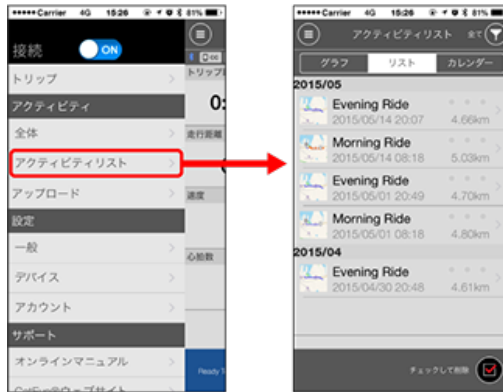


計測待機

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

※ Cateye Cycling™で計測中の場合、インポートは行えません。

3. (メニュー) の [アクティビティリスト] をタップします



スマートコンピュータにサマリーデータがある場合、(CCからインポート) が表示されます。

ボタンをタップするとスマートフォンにサマリーデータがインポートされ、アクティビティリストに反映されます。

※ この操作でスマートコンピュータ内のサマリーデータは消去されます。

※ インポート後は、スマートフォンのバッテリー消費を抑えるため、(メニュー) の [接続] をOFFにすることをお勧めします。

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### 一般

計測に関する各種設定を行います。

#### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) の【一般】をタップします



- ・ **記録間隔** **ミラーモード計測のみ有効**

ログを記録する間隔を選択できます。

- ・ **単位**

計測単位を選択します。

#### 重 要

スマートコンピュータと未接続の状態単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- ・ **高度プリセット** **ミラーモード計測のみ有効**

自宅など特定地点の海拔高度をプリセットできます。

高度プリセットをONにすると計測開始時の海拔高度を補正して、高度計測の信頼性が改善されます。

※ iPhone6など高度計測の精度が高いスマートフォンでは高度プリセットを行う必要はありません。

- ・ **オートラップ** **ミラーモード計測のみ有効**

ラップの自動入力を距離・時間・マップのいずれかの方法から選択できます。

※ マップで地点を指定する：

マップ上で任意の場所をホールドするとその地点が指定されます。

- ・ **ヘルスケアアプリで共有 (iPhoneのみ)**

ヘルスケアアプリに計測データを転送できます。

- ・ **地図位置補正 (iPhoneのみ)** **ミラーモード計測のみ有効**

〔地図位置補正〕は中国での地図の位置ズレを補正する機能です。

中国以外の国で〔地図位置補正〕をONにするとアクティビティリストの走行ルートの位置がずれて表示され、OFFにすると戻ります。

#### デバイス

#### アカウント

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### 一般

### デバイス

スマートコンピュータやセンサーのペアリング、各種設定を行います。

### 重要

- ・ デバイスの設定内容はスマートコンピュータとスマートフォンを接続した時点で共有されます。
- ・ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。



#### 1. センサーダイレクトモードの切替

#### 2. ペアリング（センサーID照合）

#### 3. タイヤ設定

### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) の [デバイス] をタップします



### スマートコンピュータ

### 重要

スマートコンピュータと接続中のみ設定可能です。



- ・ **ニックネーム**

スマートコンピュータの名称を変更できます。

- ・ **通知設定** **ミラーモード計測のみ有効**

電話やメールなどの着信通知やスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。

※ 通知できる内容はお使いのスマートフォンにより異なります。

※ auのAndroidスマートフォンをお使いの場合は、仕様によりメール (@ezweb.ne.jp) を登録できません。

- ・ **オートポーズ** **ミラーモード計測のみ有効**

計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したとき自動的に計測を一時停止する機能です。

- ・ **画面カスタマイズ**

上段表示と下段表示の内容を指定できます。

- ・ **積算距離**

積算距離の初期値を入力できます。

※ 買替時や再設定する場合に活用してください。

## センサー

### 重 要

スマートコンピュータと未接続でも変更可能です。

双方の設定値が異なる場合は、次回接続時にCateye Cycling™の内容で上書きされます。

※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。



- ・ **ニックネーム**

センサーの名称を変更できます。

- ・ **タイヤ周長** (スピード計測可能なセンサーのみ)

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

タイヤ側面に記載されているタイヤサイズからタイヤ周長を選択します。

※ 初期値：2096 mm (700x23c)

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。



### タイヤ周長の求め方

※ スマートコンピュータやセンサーのペアリングについては以下をご覧ください



### ペアリング

## アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイトやSNSのアップロード先の設定を行います。

## 1. (メニュー) の [アカウント] をタップします



以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

### サービスサイト

- ・ CATEYE Atlas™

- ・ STRAVA™

※ アカウント入力の際は [Googleを使ってログイン] は使用せず 直接メールアドレスを入力してSTRAVAにログインしてください。

- ・ TRAINING PEAKS™

### SNS

- ・ Facebook™

- ・ Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

## スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

### ペアリング（センサーID照合）

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

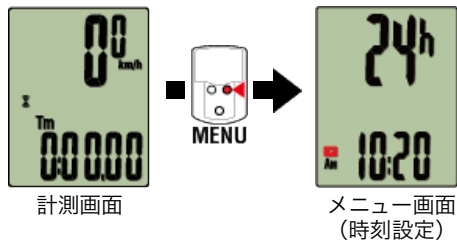
#### 重 要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
- ・ スマートフォンとペアリングや接続したとき、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に置き換えられます。センサーを追加する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。



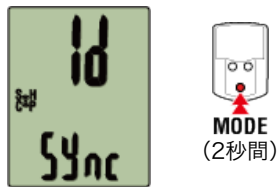
スマートフォン：ペアリング

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

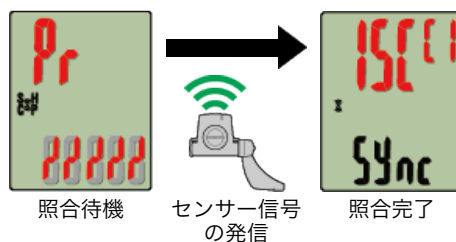
#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。



センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- ・ SP：スピードセンサー
- ・ ISC：スピード／ケイデンスセンサー

- ・ **CD**：ケイデンスセンサー
- ・ **HR**：心拍センサー
- ・ **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

#### 重 要

画面に **【FULL】** を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

## 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

## タイヤ設定



スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

## ペアリング（センサーID照合）

### タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

#### 重 要

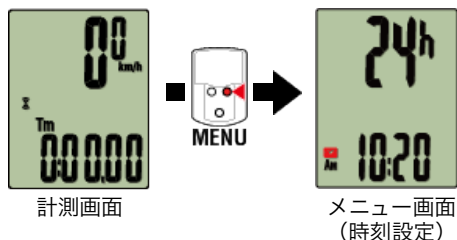
- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。



#### ペアリング（センサーID照合）

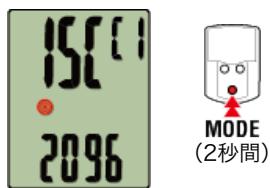
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
（設定範囲：0100～3999 mm）



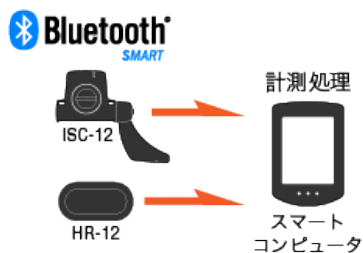
#### タイヤ周長の求め方



## スマートコンピュータのみお持ちの方

### 概 要

スマートコンピュータを一般的なサイクロコンピュータとして使用します。  
この使い方をセンサーダイレクトモードと呼び、各種センサー（スピード、ケイデンス、心拍、パワー）からの信号をスマートコンピュータが受信して計測します。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社キャットアイはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

### ●画面表示について

スマートコンピュータ画面

### 計測する

計測の開始／停止

### 設定を変更する

スマートコンピュータの各種設定を変更します。

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

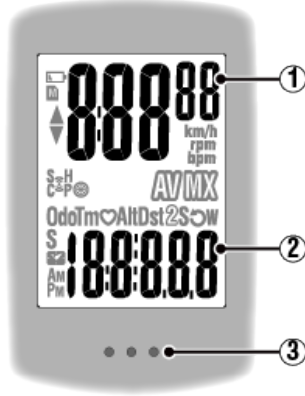
ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

## スマートコンピュータのみお持ちの方

### スマートコンピュータ画面



#### 表示内容

##### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。



上段表示設定

##### ② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

- ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：  
CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。

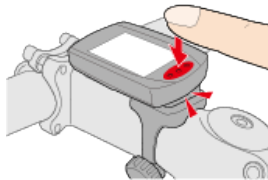


電池の交換：オプションセンサー

- ・ パワーが点滅する場合：  
左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

##### ③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。



#### アイコン説明

##### （バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。

早めに電池を交換してください。



電池の交換：スマートコンピュータ

##### （メモリアラーム）

スマートフォンと連携する際に必要な情報です。アイコンが点灯しても計測に影響はありません。

## (ベースアロー)

走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

## (センサー信号アイコン)

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

- ・ アイコンの種類：

### **S (スピード信号)**

スピードセンサーの信号を表します。

### **C (ケイデンス信号)**

ケイデンスセンサーの信号を表します。

### **S/C (SとCが同時表示)**

スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を表します。

### **H (心拍信号)**

心拍センサーの信号を表します。

### **P (パワー信号)**

パワーセンサーの信号を表します。

- ・ アイコンの状態：

### **点滅**

信号受信中

### **消灯**

信号なし

## (タイヤサイズ)

タイヤ周長を設定中に表示します。

## **km/h・m/h・rpm・bpm (計測単位)**

選択中の計測単位を表示します。

- ・ **点灯**

計測停止中

- ・ **点滅**

計測中

## **AV** (平均値)

表示中の値が平均値であることを表します。

## **MX** (最高・最大値)

表示中の値が最高 (最大) 値であることを表します。

## 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

- ・ **Odo** (積算距離)

- ・ **Tm** (走行時間)

- ・  (心拍数)

- ・ **Dst** (走行距離)

- ・ **Dst2** (走行距離2)

- ・ **S** (走行速度)

- ・  (ケイデンス)

- ・ **W** (パワー)

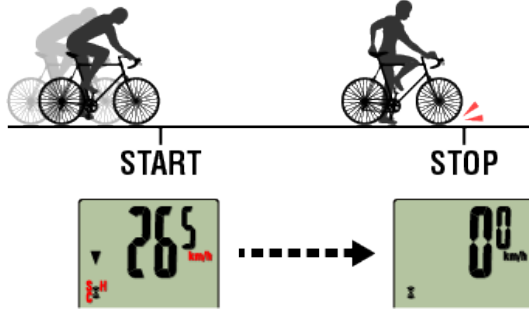
- ・  (時刻)

## スマートコンピュータのみお持ちの方

### 計測の開始／停止

#### ▶ 計測の開始／停止

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。  
計測中は、計測単位が点滅します。



#### ▶ リセット操作

計測画面で**MODE**を3秒間押すと、計測データを0に戻します。

※ **MODE**は1秒間押した時点で一時的にスマートフォンをサーチする画面を表示しますがそのまま押し続けてください。

この画面で停止したときは、もう一度**MODE**を1秒間押すと計測画面に戻ります。

※ 積算距離（Odo）はリセットできません。



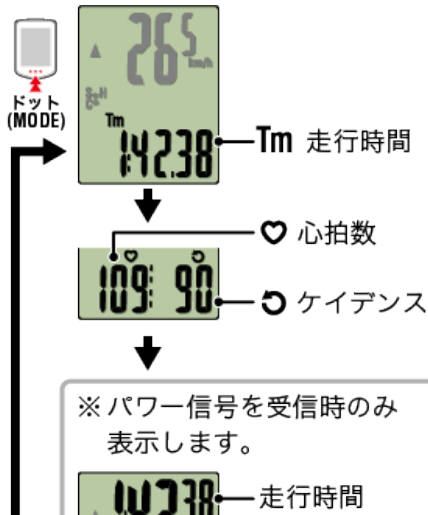
#### ● 走行距離2（Dst2）のリセット

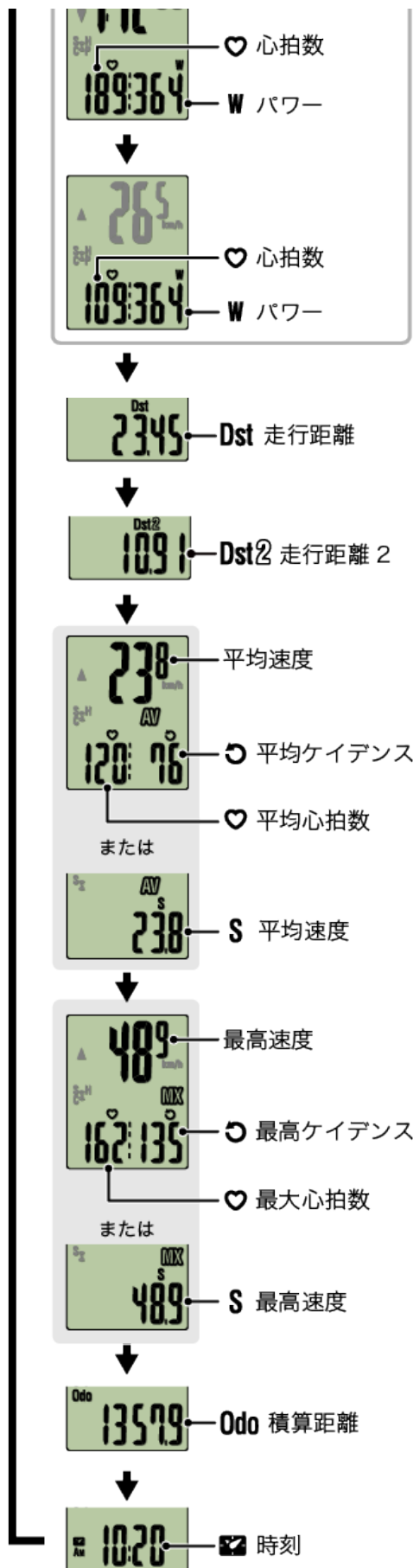
走行距離2（Dst2）を表示させて**MODE**を3秒間押すと、走行距離2のみ0に戻ります。

#### ▶ 計測データの切替

**MODE**を押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

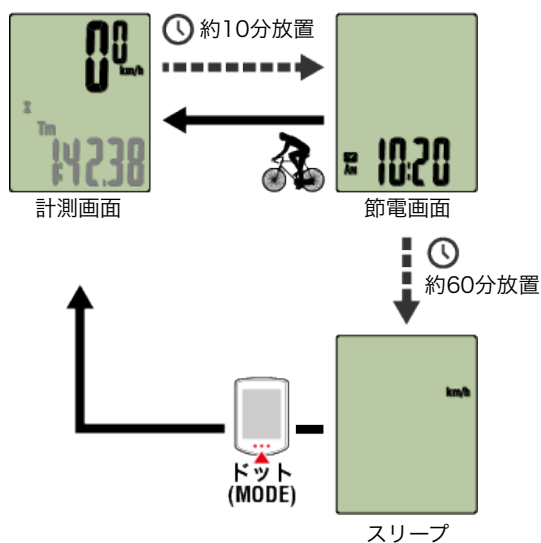
※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。

リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

## 節電機能

10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。

節電画面では自転車が動き出すと計測画面に戻ります。



## パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。



※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ パワー計測前に、定期的なキャリブレーションをお勧めします。

 パワーセンサーのキャリブレーション

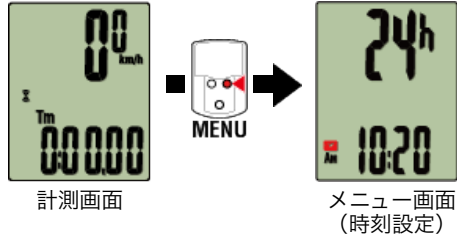
---



## スマートコンピュータのみお持ちの方

### 時刻設定

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2.  (時刻アイコン) が点滅していることを確認してMODEを2秒間押します



3. 表示時間と時刻を設定します

表示時間  
24h ↔ 12h

MODE

24h選択 12h選択

MODE (2秒間)

MODE (2秒間)

午前・午後  
AM ↔ PM

MODE

MODE (2秒間)

時  
数値増加

MODE

MODE (2秒間)

MODE (2秒間)

分  
数値増加

MODE

## スマートコンピュータのみお持ちの方

### 時刻設定

### タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

#### 重 要

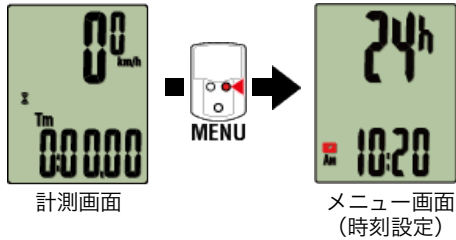
- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。



#### ペアリング（センサーID照合）

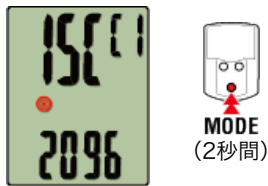
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
（設定範囲：0100～3999 mm）



#### タイヤ周長の求め方

センサー選択

MODE

MODE (2秒間)

MODE (2秒間)

タイヤ周長値

数値増加

MODE

桁移動

MODE (2秒間)

## スマートコンピュータのみお持ちの方

### 時刻設定

### タイヤ設定

### ペアリング

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

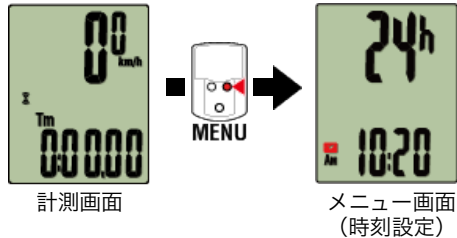
#### 重 要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
  - ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
  - ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
  - ・ スマートフォンと接続して使用する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。
- スマートフォン接続時、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に書き換えられます。



スマートフォン：ペアリング

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

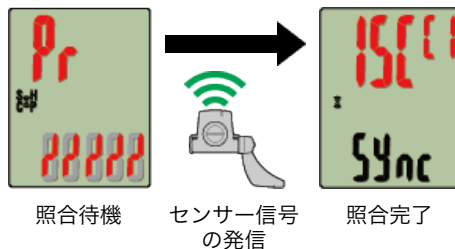
#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。



センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- ・ **SP**：スピードセンサー
- ・ **ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
- ・ **CD**：ケイデンスセンサー
- ・ **HR**：心拍センサー
- ・ **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

重 要

画面に **【FULL】** を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

#### 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

|           |
|-----------|
| 上段表示切替    |
| ファンクション設定 |
| 積算距離手入力   |
| 計測単位設定    |

## スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

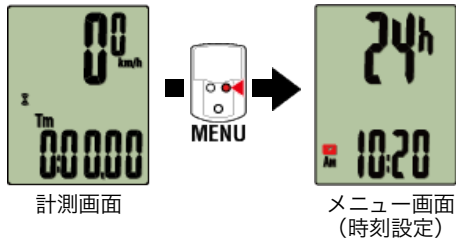
上段表示設定

上段表示は走行速度・ケイデンス・心拍数から選択できます。

### 重 要

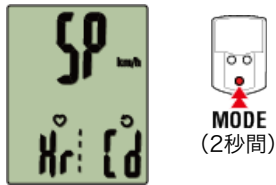
ペアリングしていないセンサーが必要な計測項目は選択できません。

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

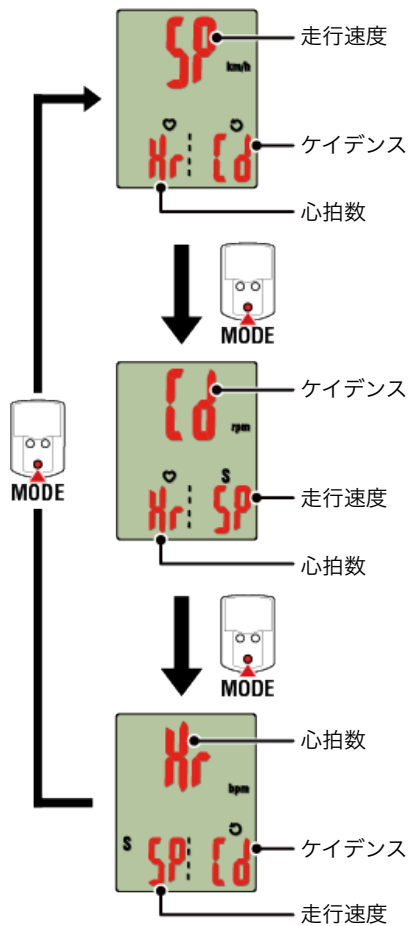


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. MODEを押して3つの表示から選択します



#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定



## スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

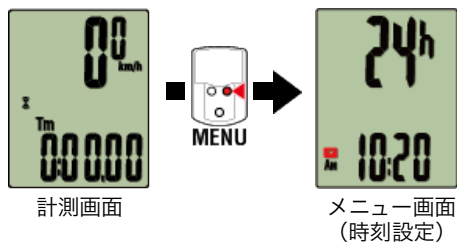
ペアリング

上段表示設定

ファンクション設定

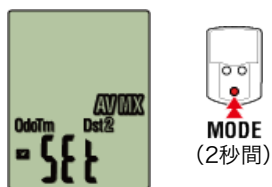
画面下段に表示する選択データから任意のデータをスキップできます。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

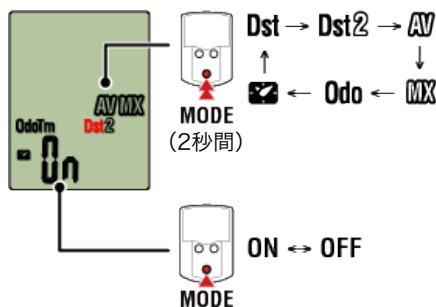


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. スキップする選択データのアイコンを点滅させてOFFに切替えます



※ 走行速度、走行時間、心拍数、ケイデンス、パワーはスキップできません。

### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確認してください。

|         |
|---------|
| 積算距離手入力 |
| 計測単位設定  |

## スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

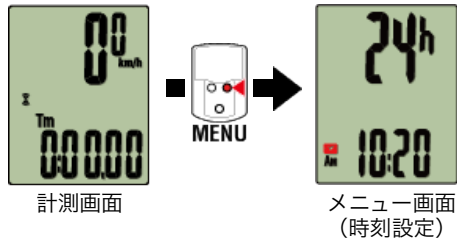
ファンクション設定

積算距離手入力

積算距離に任意の数値を入力すると、その値からスタートできます。

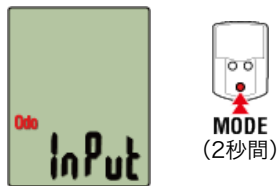
※ 買替による計測値の引継ぎや再設定する場合に活用できます。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



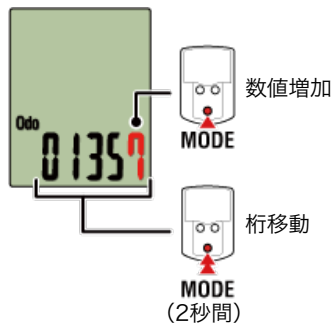
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. 積算距離を入力します

※ 小数は入力できません。



---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

計測単位設定

## スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

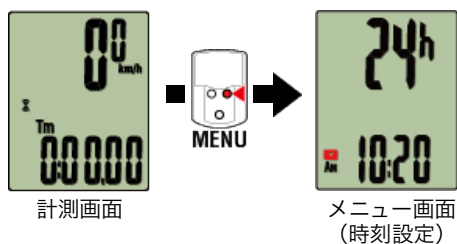
ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

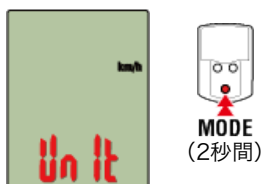
計測単位（kmまたはmile）を選択できます。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

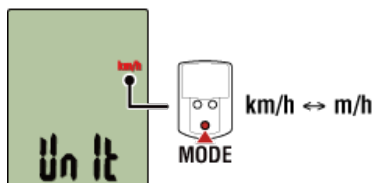


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. MODEを押して計測単位を選びます



### 4. MENUを押して設定を確認します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確認してください。

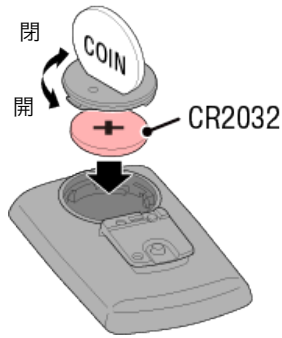
※ 計測単位を変更すると、これまで計測した計測値は変更後の単位で自動換算されます。

## 電池の交換

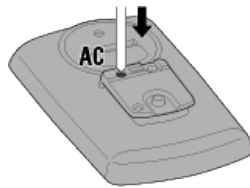
### ●スマートコンピュータ

#### パドローネスマート

画面に  (バッテリーアイコン) が点灯したら電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が上面に見えるように挿入します。



※ 交換後は、裏面のACを押してください。(リスタート操作)



#### ストラダスマート

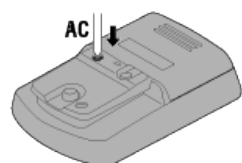
画面に  (バッテリーアイコン) が点灯したら電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が上面に見えるように挿入します。



※ 防水カバーは、カバー上部の  
ふちを押して取外します。  
取付けは、TOP側が上面に見  
えるようにかぶせてください。



※ 交換後は、裏面のACを押してください。(リスタート操作)



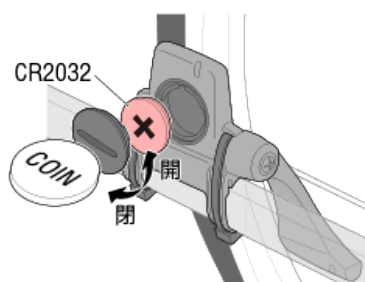
## ●オプションセンサー

### スピードセンサー（ISC-12）

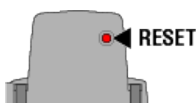
#### 重 要

CATEYE製センサーをご使用の場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅して通知します。

スマートコンピュータの走行速度やケイデンスが点滅すると電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーを  
しっかり閉めます。



※ 交換後は必ず**RESET**を押して、マグネットとの位置関係を確認してください。

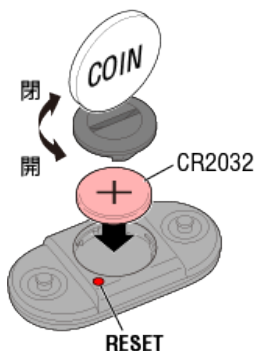


### 心拍センサー（HR-12）

#### 重 要

CATEYE製センサーをご使用の場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅して通知します。

スマートコンピュータの心拍数が点滅すると電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーを  
しっかり閉めます。



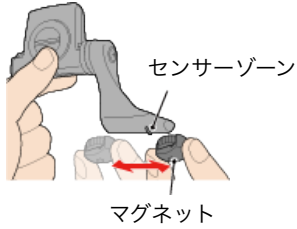
※ 交換後は必ず**RESET**を押してください。



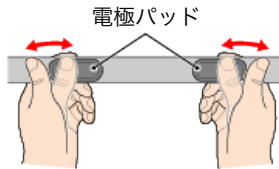
## センサー信号の発信方法

次の方法でセンサー信号を発信します。

- ・ **スピードセンサー、スピード/ケイデンス (ISC) センサー、ケイデンスセンサー**  
マグネットをセンサーゾーンに数回近づける。（間隔3 mm以内）



- ・ **心拍センサー**  
両方の電極パッドを親指でこすり、心拍信号を発信させる。



- ・ **パワーセンサー**  
パワーセンサーの取扱説明書をご覧ください。

## タイヤ周長の求め方

タイヤ周長（L）は、タイヤ周長ガイドまたは自転車のタイヤを実測して求めてください。

### タイヤ周長ガイド

※ ETRTOやタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

| ETRTO  | タイヤサイズ         | L (mm) |
|--------|----------------|--------|
| 47-203 | 12x1.75        | 935    |
| 54-203 | 12x1.95        | 940    |
| 40-254 | 14x1.50        | 1020   |
| 47-254 | 14x1.75        | 1055   |
| 40-305 | 16x1.50        | 1185   |
| 47-305 | 16x1.75        | 1195   |
| 54-305 | 16x2.00        | 1245   |
| 28-349 | 16x1-1/8       | 1290   |
| 37-349 | 16x1-3/8       | 1300   |
| 32-369 | 17x1-1/4 (369) | 1340   |
| 40-355 | 18x1.50        | 1340   |
| 47-355 | 18x1.75        | 1350   |
| 32-406 | 20x1.25        | 1450   |
| 35-406 | 20x1.35        | 1460   |
| 40-406 | 20x1.50        | 1490   |
| 47-406 | 20x1.75        | 1515   |
| 50-406 | 20x1.95        | 1565   |
| 28-451 | 20x1-1/8       | 1545   |
| 37-451 | 20x1-3/8       | 1615   |
| 37-501 | 22x1-3/8       | 1770   |
| 40-501 | 22x1-1/2       | 1785   |
| 47-507 | 24x1.75        | 1890   |
| 50-507 | 24x2.00        | 1925   |
| 54-507 | 24x2.125       | 1965   |
| 25-520 | 24x1 (520)     | 1753   |
|        | 24x3/4 Tubular | 1785   |
| 28-540 | 24x1-1/8       | 1795   |
| 32-540 | 24x1-1/4       | 1905   |
| 25-559 | 26x1 (559)     | 1913   |
| 32-559 | 26x1.25        | 1950   |
| 37-559 | 26x1.40        | 2005   |
| 40-559 | 26x1.50        | 2010   |
| 47-559 | 26x1.75        | 2023   |
| 50-559 | 26x1.95        | 2050   |
| 54-559 | 26x2.10        | 2068   |
| 57-559 | 26x2.125       | 2070   |
| 58-559 | 26x2.35        | 2083   |

|               |                        |             |
|---------------|------------------------|-------------|
| 75-559        | 26x3.00                | 2170        |
| 28-590        | 26x1-1/8               | 1970        |
| 37-590        | 26x1-3/8               | 2068        |
| 37-584        | 26x1-1/2               | 2100        |
|               | 650C Tubular<br>26x7/8 | 1920        |
| 20-571        | 650x20C                | 1938        |
| 23-571        | 650x23C                | 1944        |
| 25-571        | 650x25C 26x1<br>(571)  | 1952        |
| 40-590        | 650x38A                | 2125        |
| 40-584        | 650x38B                | 2105        |
| 25-630        | 27x1 (630)             | 2145        |
| 28-630        | 27x1-1/8               | 2155        |
| 32-630        | 27x1-1/4               | 2161        |
| 37-630        | 27x1-3/8               | 2169        |
| 40-584        | 27.5x1.50              | 2079        |
| 54-584        | 27.5x2.1               | 2148        |
| 57-584        | 27.5x2.25              | 2182        |
| 18-622        | 700x18C                | 2070        |
| 19-622        | 700x19C                | 2080        |
| 20-622        | 700x20C                | 2086        |
| <b>23-622</b> | <b>700x23C</b>         | <b>2096</b> |
| 25-622        | 700x25C                | 2105        |
| 28-622        | 700x28C                | 2136        |
| 30-622        | 700x30C                | 2146        |
| 32-622        | 700x32C                | 2155        |
|               | 700C Tubular           | 2130        |
| 35-622        | 700x35C                | 2168        |
| 38-622        | 700x38C                | 2180        |
| 40-622        | 700x40C                | 2200        |
| 42-622        | 700x42C                | 2224        |
| 44-622        | 700x44C                | 2235        |
| 45-622        | 700x45C                | 2242        |
| 47-622        | 700x47C                | 2268        |
| 54-622        | 29x2.1                 | 2288        |
| 56-622        | 29x2.2                 | 2298        |
| 60-622        | 29x2.3                 | 2326        |

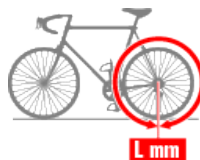
#### 自転車のタイヤ周長を実測する

タイヤの空気圧を適正にした状態で、自転車に荷重をかけます。  
バルブなどを基準にタイヤを1回転させ、路面の寸法を測ります。

前輪でスピード  
計測する場合



後輪でスピード  
計測する場合



## パワーセンサーのキャリブレーション

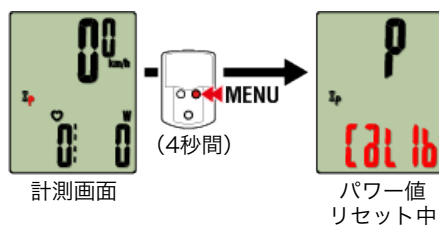
パワーセンサーは適正にキャリブレーションを行わないと正しい数値が表示されません。お使いのパワーセンサーの説明書に従いキャリブレーションを行った上でお使いください。パワーセンサーが無負荷状態でスマートコンピュータの計測値が0以外を示す場合は、以下の方法でスマートコンピュータのパワー数値を0に戻せます。

### 注 意

必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

### スマートコンピュータで

計測停止中に計測画面で**MENU**を4秒間押します。



3秒後、パワー値が0に戻ります。

## パワーセンサーのキャリブレーション

パワーセンサーは適正にキャリブレーションを行わないと正しい数値が表示されません。お使いのパワーセンサーの説明書に従いキャリブレーションを行った上でお使いください。パワーセンサーが無負荷状態でスマートコンピュータの計測値が0以外を示す場合は、以下の方法でスマートコンピュータのパワー数値を0に戻せます。

### 注 意

必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

### スマートフォンで

スマートコンピュータに接続した状態で計測停止中に［トリップ］の［キャリブレーション］をタップします。



3秒後、パワー値が0に戻ります。

## よくある質問と答え

### < iPhoneのみ >

#### パドローネスマートとCateyeCycling™の動作が一致せず計測不能になる

パドローネスマート接続時のアプリ表示によって対処方法が異なります。

CateyeCycling™を最新バージョンにアップデートし、パドローネスマートと接続した状態で  (メニュー) > [デバイス] > 接続中のパドローネスマート > [通知設定] をタップしてください。

#### 重 要

すぐに接続が切れて操作ができない場合は、以下の手順を行ってください。

1. iPhoneの [設定] > [Bluetooth] > [CC-PA500B] の順にタップします。
2. [このデバイスの登録を解除] をタップしてCC-PA500Bを削除します。
3. CateyeCycling™を開き、もう一度  (メニュー) の [接続] をONにして、パドローネスマートと接続します。

※ 接続の時点で [Bluetoothペアリング要求] のダイアログが表示された場合は、必ず [戻る] をタップしてください。

#### ・ [メッセージ] が表示されない場合



#### 対処方法1：SMS（メッセージ）の着信通知を使用しない場合

下記の手順に従ってiPhoneとパドローネスマートのペアリングを解除します。

1. iPhoneを [設定] > [Bluetooth] > [CC-PA500B] の順にタップします。
2. [このデバイスの登録を解除] をタップしてCC-PA500Bを削除します。
3. CateyeCycling™を開き、もう一度  (メニュー) の [接続] をONにして、パドローネスマートと接続します。
4. パドローネスマート接続時に [Bluetoothペアリング要求] ダイアログが表示されますが、何もタップせずにパドローネスマートの**MODE**を1秒押して計測をスタートしてください。

※ [Bluetoothペアリング要求] ダイアログで [ペアリング] をタップすると再び計測不能になります。

#### 対処方法2：SMS（メッセージ）の着信通知を使用する場合

iPhoneの通知を許可したアプリの数が多すぎると、接続の際に問題が起きる場合があります。以下の手順でiPhoneの通知設定を変更してください。

1. iPhoneの [設定] > [通知] をタップします。
2. アプリをタップし、[通知を許可] をOFFにします。

許可したアプリ数を減らして動作が改善するか確認してください。

## ・【メッセージ】が表示される場合



### 重 要

【メッセージ】をONにすると、iPhoneの環境によってパドローネスマートとの接続が不安定になる場合があります。

以下の手順に従ってメッセージをOFFにしてください。

※ 操作の最中に【Bluetoothペアリング要求】のダイアログが表示された場合は、必ず【戻る】をタップしてください。

1. iPhoneの【設定】>【Bluetooth】>【CC-PA500B】の順にタップします。  
※ 【CC-PA500B】が表示されていない場合は手順3へ進んでください。
2. 【このデバイスの登録を解除】をタップしてCC-PA500Bを削除します。
3. CateyeCycling™を開き、☰（メニュー）の【接続】がONになっていることを確認して、【デバイス】> 接続中のパドローネスマート > 【通知設定】をタップします。
4. 【メッセージ】をOFFにします。
5. 一旦、CateyeCycling™の ☰（メニュー）で【接続】をOFFにし、再度ONにします。

以上の手順で動作が改善するか確認してください。

### 表示の異常

全般

高度

心拍数

パワー

### 計測できない

ミラーモード計測のとき

センサーダイレクトモード計測のとき

心拍数が計測できない

パワーが計測できない

データがリセットできない

計測画面で**MODE**を3秒間押すとリセットされます。

「トリップの終了」と「記録の完了」の違い

トリップの終了とは？

- ・ リセット操作（**MODE**を3秒間押す）と計測値が0に戻ります。これをトリップの終了と呼びます。画面はready表示となり、次のトリップの計測がスタートできます。

記録の完了とは？

- ・ Cateye Cycling™のトリップ画面で （フラッグ）をタップするとトリップを保存・アップロードする画面に移行して一連の記録が完結します。これを記録の完了と呼びます。

計測データが記録として残らない

リセット操作してもサマリーデータが記録されていないときがある。

- ・ 0.1km以下の計測はサマリーデータとして記録されません。

アップロードできない

各サービスサイトのログイン設定は済んでいますか？

- ・ Cateye Cycling™の （メニュー）－ [アカウント] で各サイトのアカウント情報を入力しログイン設定してください。

iPhoneからFacebookに投稿できない

- ・ 次の方法で改善します。
  1. iPhoneの [設定] > [Facebook] をタップします。
  2. [アカウントの使用を許可するApp] から [Cycling] をOFFにして再度ONに戻します。

スマートフォンのバッテリー消耗が早い

計測を行わないときもCateye Cycling™の [接続] がONになっていませんか？

- ・ スマートフォンのバッテリー消費を抑えるため、 （メニュー）の [接続] をOFFにすることをお勧めします。

< iPhoneのみ >

通知設定でメールアカウントが追加できない

iCloudメールの場合

iCloudのメールアカウント（@icloud.com）を取得していますか？

1. iPhoneの [設定] > [iCloud] をタップして、 [メール] をONにします。  
画面の手順に従ってメールアカウントを取得します。



2. Cateye Cycling™の [デバイス] > [スマートコンピュータ名] > [通知設定] > [アカウントを追加] > [iCloud] の順にタップします。  
取得したメールアドレス・パスワードを設定します。

### Apple IDの [2ステップ確認] が [有効] になっていませんか？

Apple IDの [2ステップ確認] を [有効] にするとCateye Cycling™にメールアカウントを追加できません。

ブラウザからMy Apple IDにログインして、2ステップ確認を [無効] にしてください。

### Gmailの場合

Gmailでは認証のセキュリティが強化されています。

ブラウザからGoogleにログインして、 [アカウント] > [ログインとセキュリティ] を開きます。

[接続済みのアプリとサイト] の [安全性の低いアプリの許可] を [有効] にしてお試しください。

### ezwebメールの場合

1. auメールアカウント (@ezweb.ne.jp) を取得します。
2. Cateye Cycling™の [デバイス] > [スマートコンピュータ名] > [通知設定] > [アカウントを追加] > [その他] の順にタップします。  
取得したメールアドレス・ユーザー名・パスワードを図のように入力してください。

#### 取得したメールアカウント



#### Cateye Cycling™

A screenshot of the "メールアカウント" (Email Account) setup screen in the Cateye Cycling app. The screen shows fields for "メール" (Email), "説明" (Description), "受信メールサーバ" (Incoming Mail Server), "ホスト名" (Host Name), "ユーザー名" (Username), and "パスワード" (Password). The "メール" field contains "user@example.com". The "ホスト名" field contains "imap.ezweb.ne.jp (※1)". The "ユーザー名" and "パスワード" fields are marked as "必須" (Required). A blue arrow points from the "メール" field in the SMS to the "メール" field in the app. A green arrow points from the "ユーザー名" field in the SMS to the "ユーザー名" field in the app. A red arrow points from the "パスワード" field in the SMS to the "パスワード" field in the app. At the bottom of the screen is a button labeled "アカウントを追加" (Add Account).

※1：ホスト名にはメールアカウント取得時に表示されるIMAPサーバを入力します。

## Androidスマートフォンのezwebメールが通知されない

auのAndroidスマートフォンをお使いの場合は、仕様によりメール（@ezweb.ne.jp）を通知できません。

## < iPhoneのみ >

Cateye Cyclingのアクティビティリストで走行ルートがずれて表示される

【地図位置補正】がONになっていませんか？

- ・ Cateye Cyclingの （メニュー） > [一般] をタップします。



【地図位置補正】がONの場合は、OFFにしてください。

## 重 要

【地図位置補正】は中国での地図の位置ズレを補正する機能です。  
中国以外の国で【地図位置補正】をONにするとアクティビティリストの走行ルート  
の位置がずれて表示され、OFFにすると戻ります。

## < iPhoneのみ >

iPhone版Cateye Cycling™をアップデート後に  
計測中のスマートコンピュータが再接続しなくなった

Cateye Cycling™画面を表示させると再接続する。

- ・ 他社製センサーが接続を妨げています。Cateye Cycling™の （メニュー） > [デバイス] から他社製センサー（ 表示）を削除して、もう一度ペアリングし直してください。

スマホサーチ画面から無表示画面になる。

- ・ **MODE**を1秒間長押ししてスマホサーチ画面を表示してください。スマートコンピュータが再接続されます。

※ この間も計測は正常に行われます。

## よくある質問と答え

### 表示の異常：全般

#### まったく表示が出ない

電池の寿命です。新しい電池に交換してください。



**電池の交換：スマートコンピュータ**

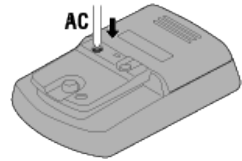
#### 異常な表示が出る

電磁波等を発生する物（鉄道線路、テレビの送信所など）が近くにあると異常表示が出る場合があります。

原因と思われる物から離れ、スマートコンピュータをリセット操作（**MODE**を3秒間押す）し、新たに計測を行ってください。

#### 画面がフリーズする

スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）



#### 画面に **M** が表示される

スマートコンピュータのメモリがいっぱいです。

スマートフォンと連携している場合は、Cateye Cycling™に接続してサマリーデータをインポートするとメモリは空になりアイコンが消灯します。

スマートコンピュータ単体で使用している場合は、計測にはまったく影響ありません。計測を継続してください。

#### 計測数値が点滅する

CATEYE製センサーをご使用の場合、計測値に関連するセンサーの電池寿命が残りわずかであることを示します。

関連するセンサーの電池を交換してください。



**電池の交換：オプションセンサー**

#### パワーの値が点滅する

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。パワーセンサーを確認してください。

#### 走行速度の値がおかしい

スピード計測可能なセンサーを使用していない場合はスマートフォンのGPSで計測を行うため、トンネルなど受信状況により、計測の中断や実際と異なる値を示します。

画面下段に計測値が表示されない  
画面上段に走行速度が表示されない

スマートコンピュータの画面設定が変更されている可能性があります。  
以下のいずれかの対処方法をお試しください。

・ スマートフォンと接続して設定する場合

Cateye Cycling™の（メニュー）＞［デバイス］＞［スマートコンピュータ］＞［画面カスタマイズ］で、上段の表示内容と下段の表示／非表示を設定します。

 デバイス ＞ スマートコンピュータ

・ スマートコンピュータ単体で設定する場合

1. 計測画面から**MENU**を押してメニュー画面に切替えます。
2. 画面上段や下段（ファンクション）の設定を行います。

 上段表示設定

 ファンクション設定

## よくある質問と答え

### 表示の異常：心拍数

#### センサーを外しても心拍数が表示される

他社製センサーを使用した場合、心拍数が長時間表示される場合があります。

#### 計測が不安定

##### 心拍センサーは正しく装着されていますか？

- ・心拍センサーの取扱説明書をご覧ください、正しい位置に装着してください。



##### 心拍センサーの装着

- ・心拍センサーはTOPが上を向くように装着してください。
- ・左側の電極部が心臓の上になるよう右にずらして装着し試してください。体質により改善される場合があります。

## よくある質問と答え

### 表示の異常：パワー

パワー表示が正確でない

パワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーションを実行してください。

- ・ 無負荷状態でパワー値が0以外を示す場合は、以下の手順に従い、スマートコンピュータのパワー数値を0にリセットしてください。



ミラーモードで計測する場合



センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

## よくある質問と答え

### 表示の異常：高度

登坂高度の計測値にばらつきがある

高度計測は、スマートフォンのGPS機能に依存しているため、実際の値と異なる場合があります。

## よくある質問と答え

### 計測できない：ミラーモード計測のとき

ミラーモード計測画面にならない

**Cateye Cycling™**をスマートフォンにインストールしましたか？

- ・ Cateye Cycling™をインストールしてください。



iPhoneをご使用の方



Androidスマートフォンをご使用の方



※ Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、  
「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。

**スマートフォンとスマートコンピュータをペアリングしましたか？**

- ・ Cateye Cycling™でスマートコンピュータをペアリングしないとミラーモード計測はできません。



**スマートフォン：スマートコンピュータとのペアリング**

**Cateye Cycling™のメニューで接続が【ON】になっていますか？**

- ・ 接続を【ON】にしてください。

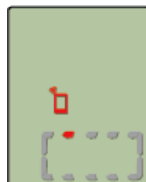
**センサーダイレクトモードになっていませんか？**

- ・ **MODE**を1秒間押してください。  
スマホサーチ画面に切替り、スマートフォンと接続します。



**スマートフォンとスマートコンピュータの接続**

計測中のスマートコンピュータがスマホサーチ画面のままで  
いつまでも再接続されない



スマホサーチ  
画面



スマホサーチ画面から無表示画面になる。

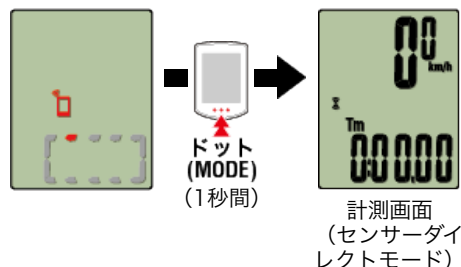
- ・ **MODE**を1秒間長押ししてスマホサーチ画面を表示してください。スマートコンピュータが再接続されます。

※ この間も計測は正常に行われます。

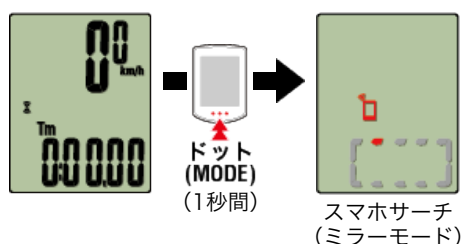
---

スマートコンピュータをセンサーダイレクトモードに切替え、再度、ミラーモードに戻します。

1. **MODE**を1秒間長押しして、センサーダイレクトモードに切替えます。



2. もう一度**MODE**を1秒間長押しして、ミラーモードに戻します。



スマホサーチからコネクト画面になり、計測画面に戻るか確認します。

---

< iPhoneのみ > Cateye Cycling™画面を表示させると再接続する。

- ・ 他社製センサーが接続を妨げています。Cateye Cycling™の  (メニュー) > [デバイス] から他社製センサー (⚠ 表示) を削除して、もう一度ペアリングし直してください。

---

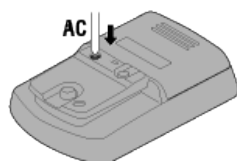
Cateye Cycling™が異常終了していませんか？

- ・ Cateye Cycling™を起動してください。

---

スマートコンピュータをリスタートします。

- ・ スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。(リスタート操作)



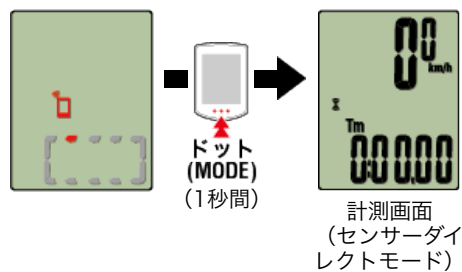
---

それでも改善しない場合は、スマートフォンを再起動してください。

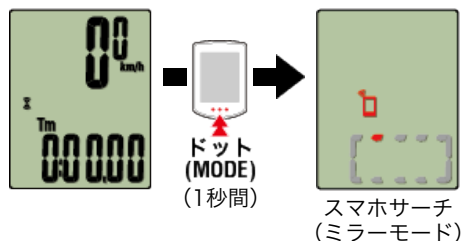
スマートコンピュータのスマホサーチ画面でスマートフォンと接続できない

スマートコンピュータをセンサーダイレクトモードに切替え、再度、ミラーモードに戻します。

1. **MODE**を1秒間長押しして、センサーダイレクトモードに切替えます。



2. もう一度**MODE**を1秒間長押しして、ミラーモードに戻します。



スマホサーチからコネクト画面になり、計測画面に戻るか確認します。

### Cateye Cycling™のメニューで接続が【ON】になっていますか？

- ・ 接続を【ON】にしてください。

【ON】であるのに接続できないときは、スマートコンピュータのペアリングをやり直します。

 スマートフォン：スマートコンピュータとのペアリング

ready表示のままで計測がスタートしない

**MODE**を1秒間押すと**Tm**が表示され計測がスタート可能となります。  
Cateye Cycling™の計測開始ボタンをタップしても同様です。



PAUSEと走行距離を交互に表示して計測がスタートしない

計測が一時停止中です。

**MODE**を1秒間押すと計測が再開できます



走行速度が計測できない

スピードセンサー（ISC-12）を使用している場合は、ホイールマグネットがセンサーゾーンと対面する位置から外れるとスピード信号が0と判断され計測できません。

（走行速度の計測はセンサーのスピード信号を優先します）

以下の対処方法をお試しく下さい。

- ・ 接続できないセンサーのRESETボタンを押してください。

センサーのペアリングを行いましたか？

- ・ Cateye Cycling™でセンサーとのペアリングが必要です。



スマートフォン：センサーとのペアリング

スマートコンピュータでセンサーをペアリングしましたか？

- ・ スマートフォンとペアリングや接続したとき、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に置き換えられます。センサーを追加する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。



スマートフォン：センサーとのペアリング

Cateye Cycling™を新規インストールしましたか？

- ・ Cateye Cycling™を新規インストールした場合など、スマートコンピュータを接続した際にセンサー情報が正しく転送されていないことが考えられます。Cateye Cycling™でもう一度お使いのセンサーをペアリングし直してください。



スマートフォン：センサーとのペアリング

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

センサーの電池が消耗していませんか？

- ・ 新しい電池に交換してください。



電池の交換：オプションセンサー

スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

- ・ センサーの取扱説明書をご覧ください、正しく取付けてください。



スピードセンサーの取付け (ISC-12)

## スピードセンサーなしで計測できない

計測をスタートした直後ではありませんか？

- ・ スマートフォンがGPSを捕捉するまで時間がかかる場合があります。屋外でしばらく待機してからスタートしてください。  
※ GPSを捕捉するまでの時間は、お使いのスマートフォンにより異なります。

GPS信号の受信に適さない場所や天候ではありませんか？

- ・ スマートフォンのGPS捕捉が途絶えると計測できなくなります。  
※ GPSの受信については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

自転車から離れて戻ってくるとスマートコンピュータがスリープ画面になっていた

スマートフォンとの距離が離れた場合、短時間でもスマートコンピュータがスリープに入ることがあります。スマートコンピュータをクリックすることでスマホサーチ状態になり、スマートフォンと再接続することができます。



スリープ

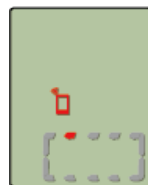
スマホサーチ画面から再接続できない場合

- ・ スマートコンピュータを一旦センサーダイレクトモードに切替

え、再びミラーモードに戻します。

接続が復旧する場合があります。

※ センサーダイレクトモード／ミラーモードの切替えは、**MODE**を1秒間押して行います。

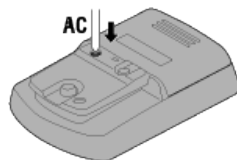


スマホサーチ  
画面

#### スマートコンピュータの動作が不安定

スマートフォンを再起動してください。

改善しない場合は、さらにスマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）



## よくある質問と答え

### 計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

#### 計測画面にならない

##### 画面下段が回転していませんか？

- ・ **MODE**を1秒間押してください。センサーダイレクトモードの計測画面に移行します



スマホサーチ画面

#### 計測中にセンサー信号が切断する

##### 以下の対処方法をお試しください。

- ・ スマートコンピュータを一旦ミラーモードに切替え、再びセンサーダイレクトモードに戻します。  
接続が復旧する場合があります。  
※ センサーダイレクトモード／ミラーモードの切替えは、**MODE**を1秒間押して行います。
- ・ 信号が切断したセンサーの**RESET**ボタンを押してください。

#### センサー信号を受信しない (Cateye Cycling™をインストールしている場合)

##### 以下の対処方法をお試しください。

- ・ スマートコンピュータを一旦ミラーモードに切替え、再びセンサーダイレクトモードに戻します。  
接続する場合があります。  
※ センサーダイレクトモード／ミラーモードの切替えは、**MODE**を1秒間押して行います。
- ・ 接続できないセンサーの**RESET**ボタンを押してください。

#### スマートフォンのCateye Cycling™メニューで接続が【ON】になっていませんか？

- ・ 【OFF】にするかCateye Cycling™を終了してください。

#### センサーとペアリングを行いましたか？

- ・ Cateye Cycling™でセンサーとのペアリングが必要です。



スマートフォン：センサーとのペアリング

#### スマートコンピュータでセンサーをペアリングしましたか？

- ・ スマートフォンとペアリングや接続したとき、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に置き換えられます。センサーを追加する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。



スマートフォン：センサーとのペアリング

## Bluetoothセンサーと接続する他のスマートフォンアプリを同時に使用していませんか？

- ・ Bluetoothセンサーがスマートフォンと接続している可能性があります。  
Bluetoothセンサーは1つのデバイスとしか接続しない特性があります。アプリの使用を中止する、またはアプリの設定でBluetoothセンサーを接続しないように変更してください。

---

## iPhoneと他社製センサーをお使いですか？

- ・ 他社製センサーはスマートコンピュータで再度ペアリングする必要があります。  
スピード計測可能なセンサーの場合はタイヤ周長も同様です。



スマートコンピュータ：センサーとのペアリング



スマートコンピュータ：タイヤ設定

---

## お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

---

## センサーの電池が消耗していませんか？

- ・ 新しい電池に交換してください。



電池の交換：オプションセンサー

---

## スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

- ・ センサーの取扱説明書をご覧ください、正しく取付けてください。



スピードセンサーの取付け（ISC-12）

センサー信号を受信しない  
（スマートコンピュータのみでご使用の場合）

## 以下の対処方法をお試しください。

- ・ スマートコンピュータを一旦ミラーモードに切替え、再びセンサーダイレクトモードに戻します。  
接続する場合があります。  
※ センサーダイレクトモード／ミラーモードの切替えは、**MODE**を1秒間押して行います。
- ・ 接続できないセンサーの**RESET**ボタンを押してください。

---

## センサーとペアリングを行いましたか？

- ・ センサーはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。



スマートコンピュータ：センサーとのペアリング

---

## お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

---

## センサーの電池が消耗していませんか？

- ・ 新しい電池に交換してください。



電池の交換：オプションセンサー

---

## スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

- ・ センサーの取扱説明書をご覧ください、正しく取付けてください。



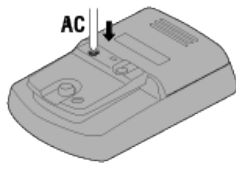
スピードセンサーの取付け（ISC-12）

---

スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

## 注 意

計測途上の場合、リスタート操作の前に必ず**MODE**を3秒間長押し（リセット操作）してサマリーデータを生成してください。  
先にリスタート操作を行うと計測途上のデータは失われます。



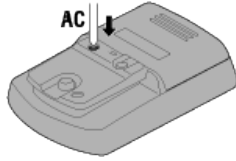
#### スマートコンピュータの動作が不安定

スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

#### 注 意

計測途中の場合は、リスタート操作の前に必ず**MODE**を3秒間長押し（リセット操作）してサマリーデータを生成してください。

先にリスタート操作を行うと計測途中のデータは失われます。



## よくある質問と答え

### 計測できない：心拍数

画面の H が点滅しない

#### センサーのペアリングを行いましたか？

- ・ センサーはCateye Cycling™、またはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。



ミラーモードで計測する場合



センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

---

#### 電極パッドが身体から離れていませんか？

- ・ 電極パッドが身体に密着するように装着してください。

---

#### 肌が乾燥していませんか？

- ・ 電極パッドを少し湿らせます。

---

#### 電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？

- ・ 装着ベルトを新しい物と交換してください。



## よくある質問と答え

### 計測できない：パワー

画面の P が点減しない

#### センサーのペアリングを行いましたか？

- ・ センサーはCateye Cycling™、またはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。



ミラーモードで計測する場合



センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

---

#### パワーセンサーの取付条件を満たしていますか？

- ・ パワーセンサーの取扱説明書をご覧ください

## スマートフォンとスマートコンピュータの接続

### スマートフォンで

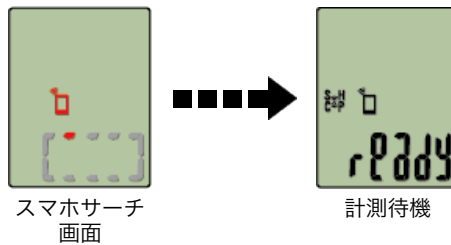
1. Cateye Cycling™を起動し、☰（メニュー）の「接続」をONにします



### スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。



※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、[PAUSE] や計測中の値が表示されます。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

## ペアリング

### 重 要

- ・ スマートコンピュータやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。  
他の機器とペアリングする恐れがあります。

### スマートフォンで

1. 画面左上の （メニュー）から「接続」をONにして、「デバイス」をタップします。

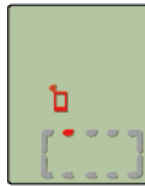


「ペアリング」をタップするとペアリングを開始します。  
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

### スマートコンピュータとのペアリング

### スマートコンピュータで

1. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示します



スマホサーチ  
画面

### スマートフォンで

Cateye Cycling™がスマートコンピュータを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。



「ペアリング」をタップしてペアリングを完了します。

※ パドローネスマートでiPhoneをお使いの場合は、以下のメッセージが表示される場合があります。

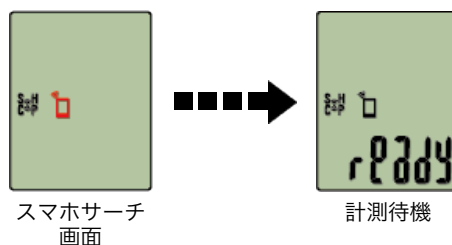


表示された場合はもう一度、【ペアリング】をタップしてください。

ペアリング完了後、画面左上の  (メニュー) から【トリップ】をタップしてトリップ画面に切替えます。

#### スマートコンピュータで

トリップ画面に切替えるとスマートコンピュータはスマホサーチ画面から【ready】（計測待機）表示に切替ります。



以上でスマートコンピュータのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引続き、センサーのペアリングを行なってください。

#### センサーとのペアリング

スマートコンピュータは、Bluetooth SMART規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

##### 重 要

- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。
- ・ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。  
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。



1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

#### 1. センサー信号を発信させます



##### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

【ペアリング】をタップすると【デバイス】に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

## 2. タイヤ周長を設定します

【デバイス】から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。



### タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

## ペアリング

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

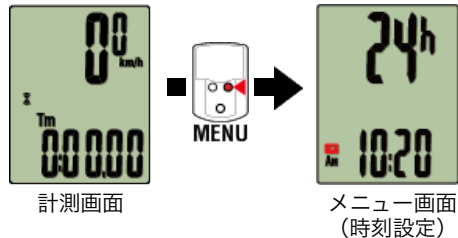
### 重 要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
  - ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
  - ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
  - ・ スマートフォンと接続して使用する場合は、Cateye Cycling™でペアリングしてください。
- スマートフォン接続時、Cateye Cycling™にセンサー情報が含まれているとスマートコンピュータはCateye Cycling™のセンサー情報に書き換えられます。



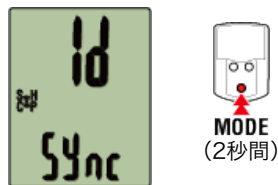
スマートフォン：ペアリング

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

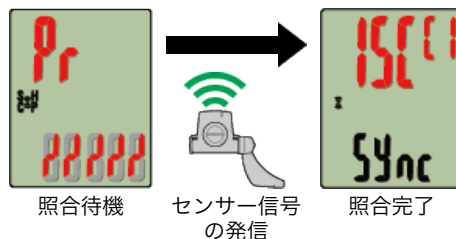
### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。



センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- ・ SP：スピードセンサー
- ・ ISC：スピード／ケイデンスセンサー
- ・ CD：ケイデンスセンサー

- ・ **HR**：心拍センサー
- ・ **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

#### 重 要

画面に **【FULL】** を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

## 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰り返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

## タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

### 重 要

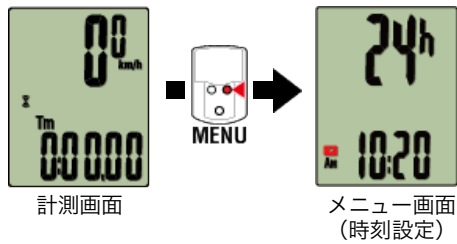
- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。



#### ペアリング（センサーID照合）

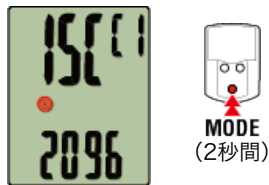
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します



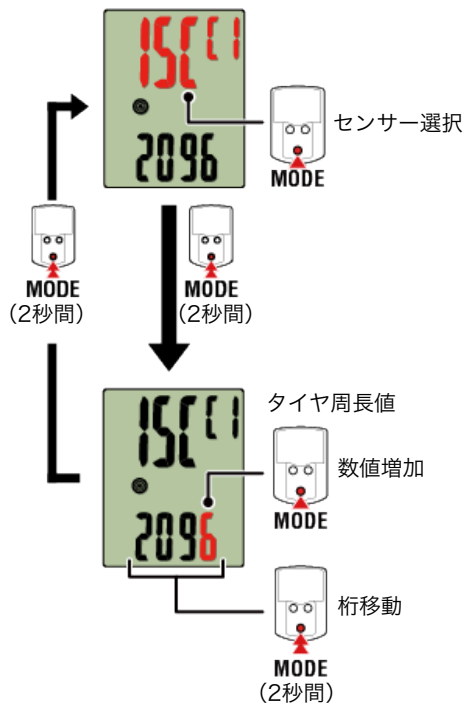
### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
（設定範囲：0100～3999 mm）



#### タイヤ周長の求め方





※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

- ・ **A** : Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー
- ・ **C** : スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

センサーはチェーンステーの上側・下側どちらでも取付け可能です。

### 注 意

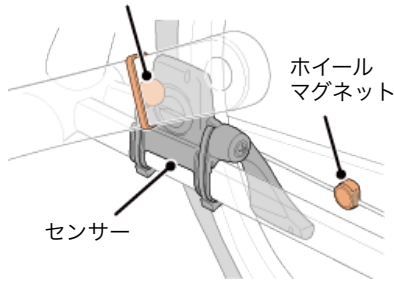
チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

### 動画で見る

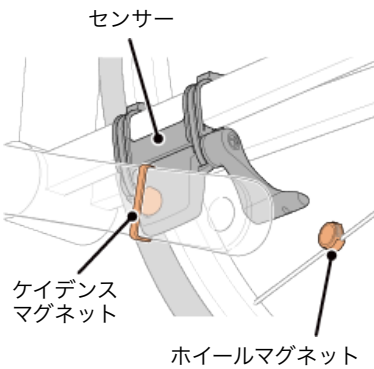
### 静止画で見る

#### チェーンステー上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



#### チェーンステー下側に取付けた場合



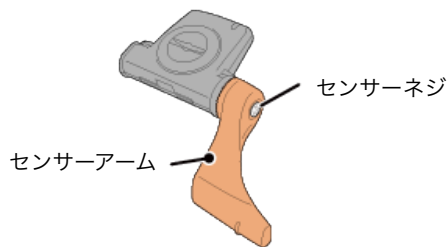
### 注 意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステー上側の取付けを例に説明しています。

### 1. センサーを左チェーンステーに仮止めします

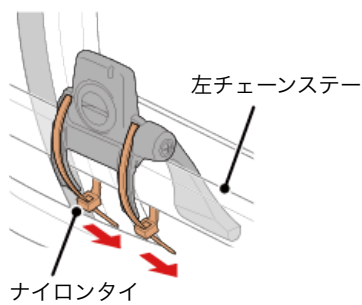
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

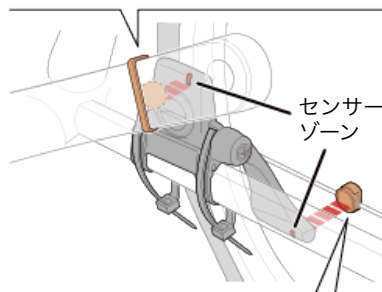
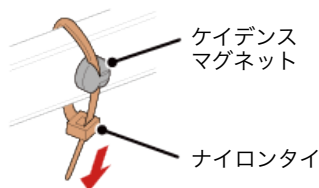


### 注 意

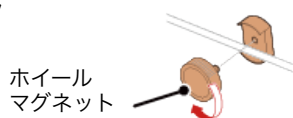
ナイロントイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2. マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク

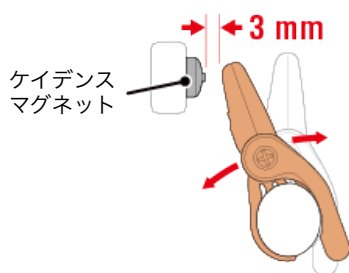


- ① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。
- ② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

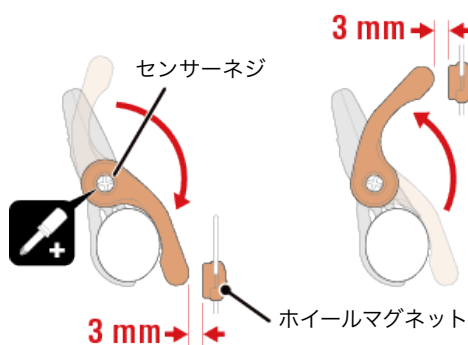
※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

### 3. センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

- ① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



### 4. 各部を固定します

センサーのナイロントイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロントイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## 心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

### 心拍センサーを装着する前に

#### 警 告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

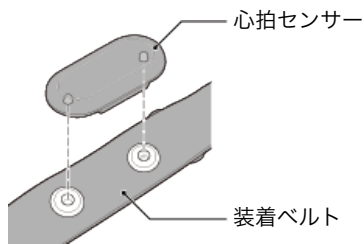
- ・ 計測ミスをなくするため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

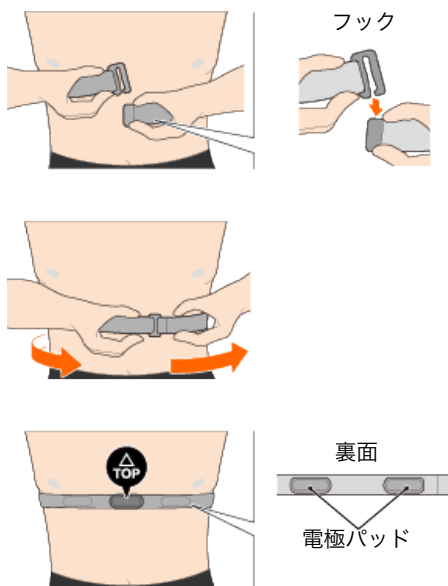
### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。



※ 心拍センサーはTOPが上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## 取扱いおよびサポート

### 警告・注意

#### スマートコンピュータ/オプションセンサー

##### ⚠ 警告

- ・走行中は、スマートコンピュータやスマートフォンに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ・ブラケット・センサー類はしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- ・誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

##### ⚠ 注意

- ・スマートコンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- ・スマートコンピュータは絶対分解しないでください。
- ・スマートコンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ・ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・スマートコンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- ・指定以外の電池を使用すると破裂の危険性があります。使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- ・液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

#### Bluetooth Smartについて

次のような場所や環境では干渉を受け、正しい計測が行えない場合があります。

- ・テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内
- ・踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など
- ・他のBluetooth製品を含む無線機器や一部のライトと併用してご利用の場合

#### Cateye Cycling™

スマートコンピュータはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」と連動して計測や設定が行えます。アプリケーションのダウンロードおよび利用には通信料が発生するためWi-Fiの活用をお勧めします。

### メンテナンス

スマートコンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。

### 標準部品/オプション部品

#### 標準部品

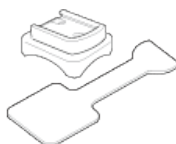
**1602194**  
ブラケットキット



**1600280N**  
ブラケットバンド



**1602193**  
ブラケット



**1665150**  
リチウム電池（CR2032）

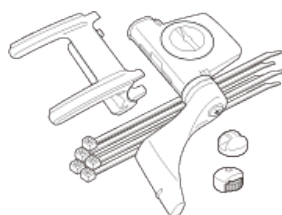


---

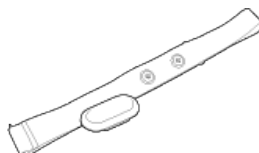
## オプション部品

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社キャットアイはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

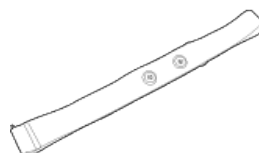
**1603970**  
スピードセンサー  
（ISC-12）



**1603980**  
心拍センサー（HR-12）



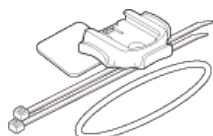
**1603595**  
装着ベルト



**1604100**  
アウトフロントブラケット



**1603892**  
スリムブラケットキット



**1699691N**  
ホイールマグネット



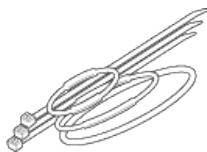
**1699766**  
ケイデンスマグネット





1603893

ラバーバンド・ナイロントイ



## 製品仕様

### 計測機能

| 計測データ           | 計測範囲                                       |
|-----------------|--------------------------------------------|
| 走行速度            | 0.0(4.0)～105.9 km/h<br>[0.0(3.0)～65.9 mph] |
| 最高速度            | 0.0(4.0)～105.9 km/h<br>[0.0(3.0)～65.9 mph] |
| 平均速度            | 0.0～105.9 km/h<br>[0.0～65.9 mph]           |
| 走行距離            | 0.00～999.99 km[mile]                       |
| 走行距離2（※1）       | 0.00～999.99 / 1000.0～9999.9 km[mile]       |
| 積算距離            | 0.0～9999.9 / 10000～99999 km km[mile]       |
| 走行時間            | 0:00.00～9:59'59"                           |
| 時刻              | AM1:00～PM12.59<br>[0:00～23:59]             |
| ケイデンス（※2）       | 0(20)～199 rpm                              |
| 最高ケイデンス<br>（※2） | 0(20)～199 rpm                              |
| 平均ケイデンス<br>（※2） | 0～199 rpm                                  |
| 心拍数（※2）         | 0(20)～199 rpm                              |
| 最大心拍（※2）        | 0(20)～199 rpm                              |
| 平均心拍（※2）        | 0～199 bpm                                  |
| パワー（※2）         | 0～9999 w                                   |
| 海拔高度            | -500～9999 m[ft]                            |

※1 センサーダイレクトモードのみ。

※2 心拍・ケイデンス・パワーの計測は各センサーとのペアリングが必要です。

### 使用電池／電池寿命

#### ●スマートコンピュータ

- ・パドローネスマート：  
リチウム電池（CR2032）×1  
／約4ヶ月（ISC-12、HR-12をペアリングして1日1時間使用した場合）
- ・ストラダスマート：  
リチウム電池（CR2032）×1  
／約5ヶ月（ISC-12、HR-12をペアリングして1日1時間使用した場合）

#### ●オプションセンサー

- ・心拍センサー（HR-12）：  
リチウム電池（CR2032）×1  
／約5ヶ月（1日1時間使用時）

・ **スピードセンサー（ISC-12）**：

リチウム電池（CR2032）×1

／約5ヶ月（1日1時間使用時）

※ あらかじめ装着されている電池はモニター用のため、上記の寿命より短い場合があります。

※ 電池寿命はセンサーのペアリング数や使用状況により短くなる場合があります。

---

**制御方式**

マイクロコンピュータ（水晶発振器）

---

**表示方式**

液晶表示

---

**走行速度・ケイデンス検知方式**

無接触磁気センサー（ISC-12）

※ 走行速度はスマートフォンのGPSでも計測できます。

---

**送受信方式**

Bluetooth SMART

---

**通信範囲**

約30 m（通信範囲は天候や環境などにより変化します。）

---

**スピードセンサータイヤ周長範囲**

0100 mm ～3999 mm

（初期値：2096 mm）

---

**使用温度範囲**

0℃～40℃

※ 使用温度範囲外で使用すると表示の視認性が悪化する場合があります。

---

**寸法・重量**

●スマートコンピュータ

・ パドローネスマート：

67.5 x 43 x 15.6 mm / 30 g

・ ストラードスマート：

47 x 32 x 13.2 mm / 17 g

●オプションセンサー

・ 心拍センサー（HR-12）：

31 x 62.5 x 11.8 mm / 16.6 g

・ スピードセンサー（ISC-12）：

70.4 x 86.3 x 23.5 mm / 19.2 g

（アーム部を下に向けた場合）

---

※ 仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

---

**保証規定**

**2年間保証**

- ・ パドローネスマート本体
  - ・ ストラードスマート本体
  - ・ ISC-12 スピード/ケイデンスセンサー
  - ・ HR-12 心拍センサー
- （付属品及び電池の消耗は除く）

正規小売店でご購入いただき、正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたし

ます。お送りいただく前にEメール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。修理のご依頼にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できるレシートなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。ネットオークションを含む全ての転売品、事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

**【宛先】**

株式会社キャットアイ カスタマーサービス  
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号  
TEL：(06)6719-6863 ダイヤルイン  
FAX：(06)6719-6033  
Eメール：support@cateye.co.jp

## 法律に基づく注意

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.